
こまき巡回バス「こまくる」
利用者アンケート
調査結果

令和3年9月

小 牧 市

目 次

1. アンケート調査の実施概要.....	1
(1)調査の目的.....	1
(2)調査対象及び調査方法.....	1
(3)配布数及び回収結果.....	1
(4)数値の統計的な取り扱いについて.....	1
2. アンケートの詳細結果.....	2
(1)属性.....	2
(2)アンケートを受け取った当日のバス利用について.....	5
(3)再編前後のバス利用実態・意向の変化について.....	17
(4)こまくるの経費について.....	24
(5)こまくるの運転手について.....	26
(6)こまくるの周知・サービスについて.....	29
(7)今後のこまくるについて.....	33
(8)自由意見.....	39
3. アンケート調査票.....	41

1. アンケート調査の実施概要

(1)調査の目的

令和2年12月にこまき巡回バスの路線再編を行ったことを受け、路線再編以降の利用状況を調査し、早期に再編後の利用者の声や問題点などを把握するために実施する。

(2)調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	こまき巡回バスの利用者（全路線・全便）
配布数	1,546通
調査方法	配布：手渡し方式 回収：郵送方式
調査日	令和3年7月25日(日) 令和3年8月2日(月)

(3)配布数及び回収結果

配布票数	1,546票（平日962票、休日584票）
回収票数	644票（平日377票、休日222票、無回答45票）
回収率	41.7%（平日39.2%、休日38.0%）

(4)数値の統計的な取り扱いについて

- 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が100%を前後する場合がある。また、各設問の結果のコメントについては、便宜的に“約70%”などと、小数点以下1位を四捨五入した整数値で表記する。
- 設問に対する回答者の母数は“n=〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出する。
- 表、グラフ等の見出し及び文章中の選択肢については、趣旨が変わらない程度に簡略化している場合がある。
- 各回答は不明を除き集計する。

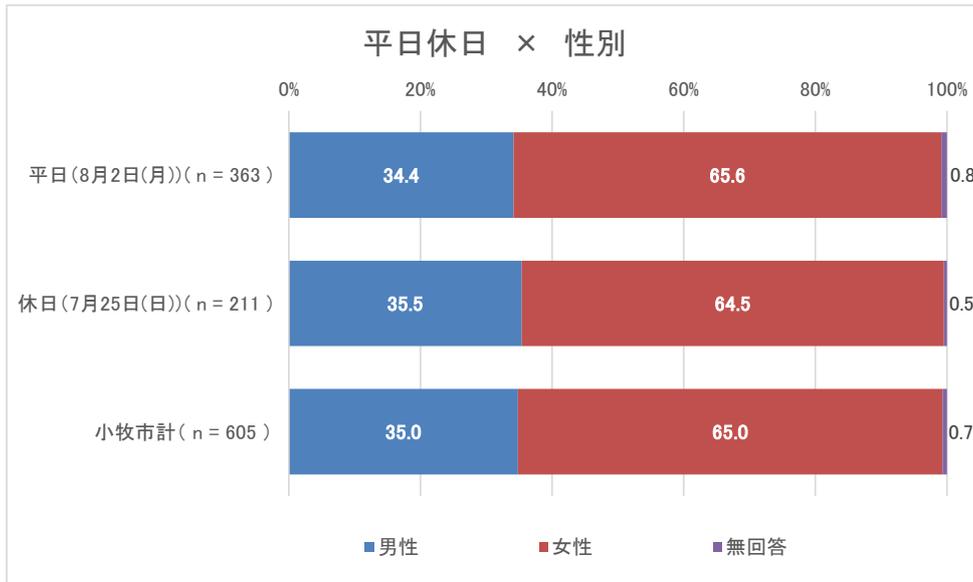
2. アンケートの詳細結果

(1) あなた自身のことについて

【問1】 あなた自身のことについて、各項目で該当する番号1つに○をつけてください。

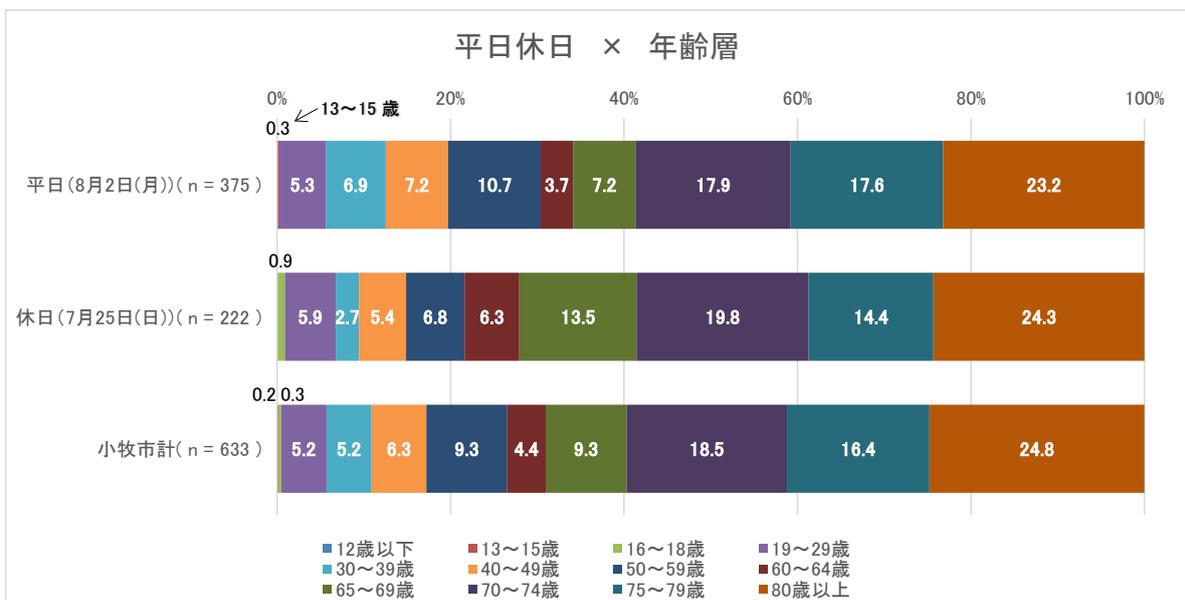
① 性別

- 市全体では「女性」が65%、「男性」は35%となっている。
- 平日、休日ともに「女性」が6割以上を占めている。



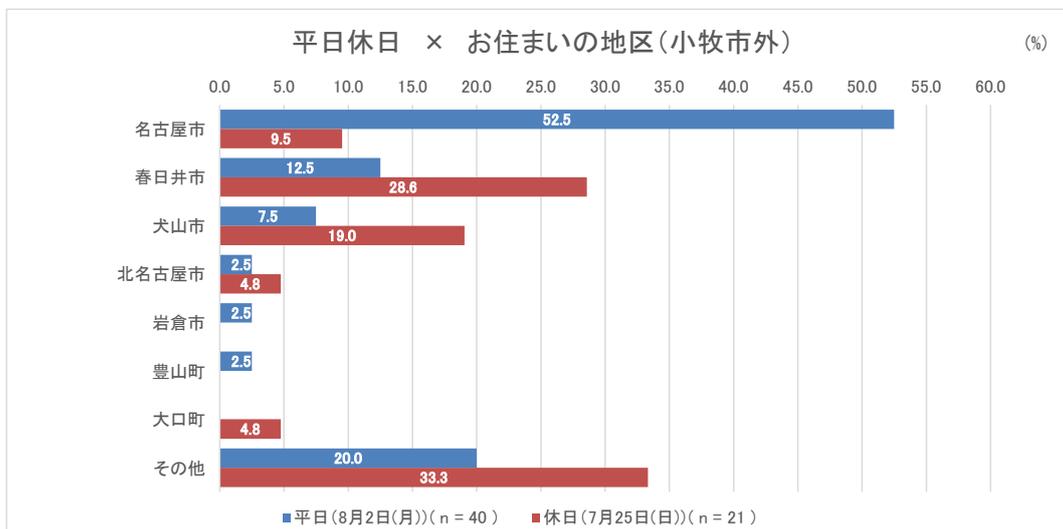
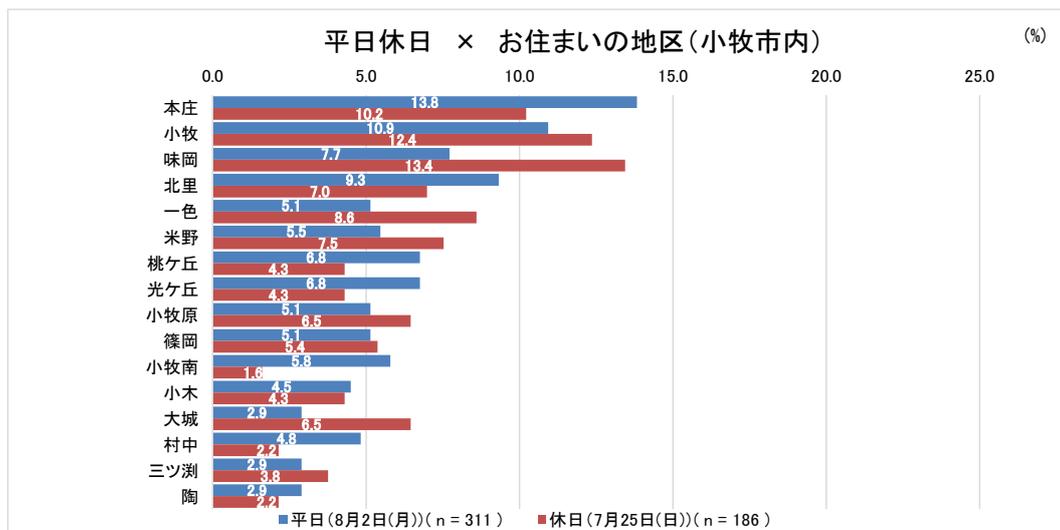
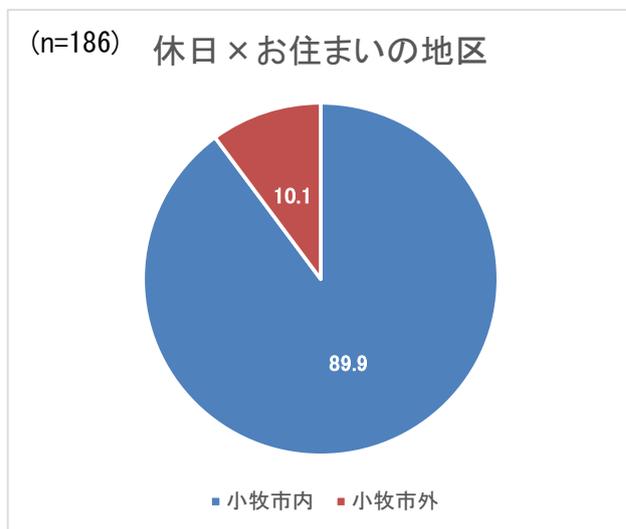
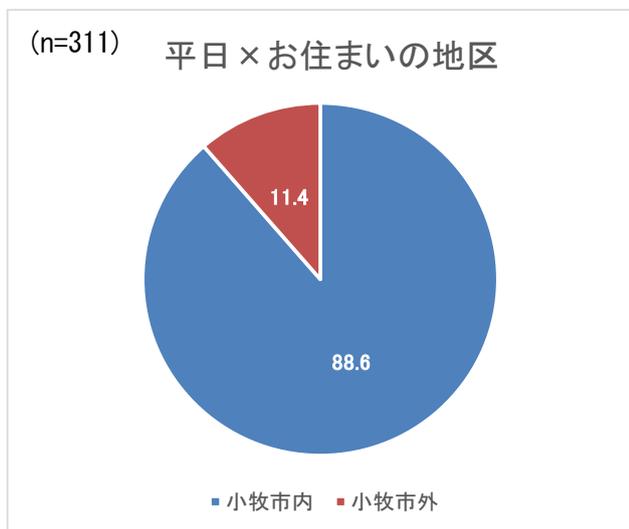
② 年齢

- 各年齢層から一定数の回答を得られている。
- 70歳以上が約60%を占めている。



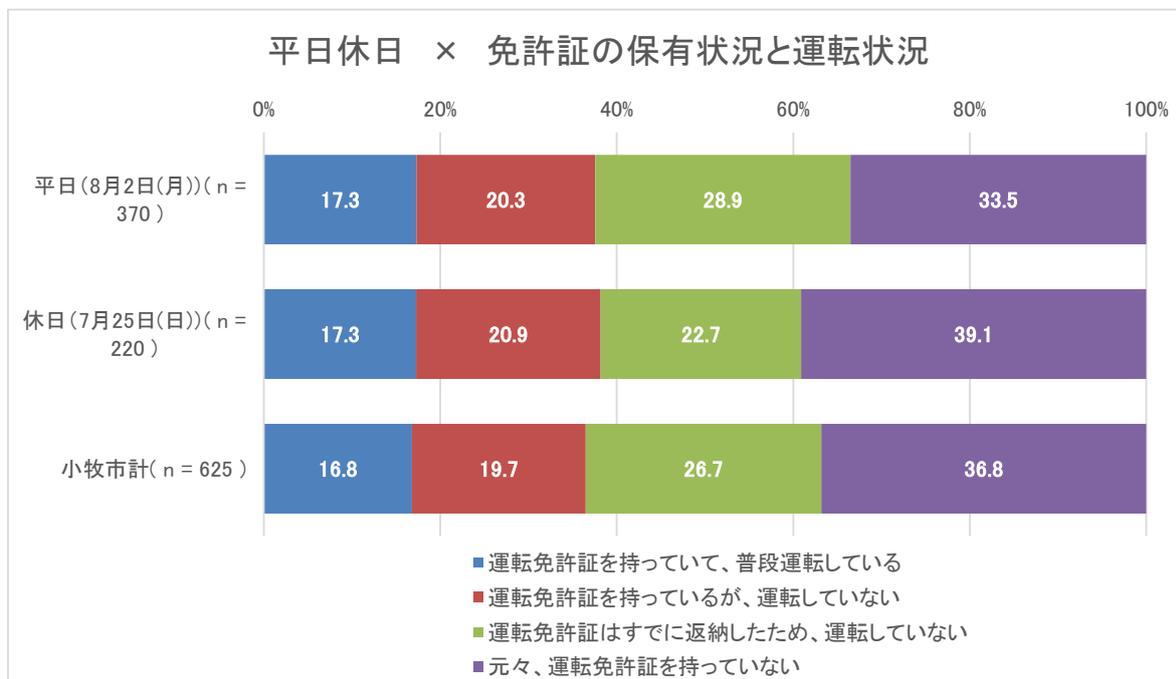
③ お住まいの地区

- 市全体では、「小牧市内」が約 90%を占める。
- 小牧市内の内訳については、各小学校区から一定数の回答が得られている。
- 小牧市外の内訳については、平日では「名古屋市」が約 52%、休日では「春日井市」が約 29%と最も多くなっている。



④ 運転免許証の保有状況と自動車の運転状況

■市全体では「元々、運転免許証を持っていない」の割合が約37%と最も高く、次いで「運転免許証はすでに返納したため、運転はしていない」の割合が約27%となっている。

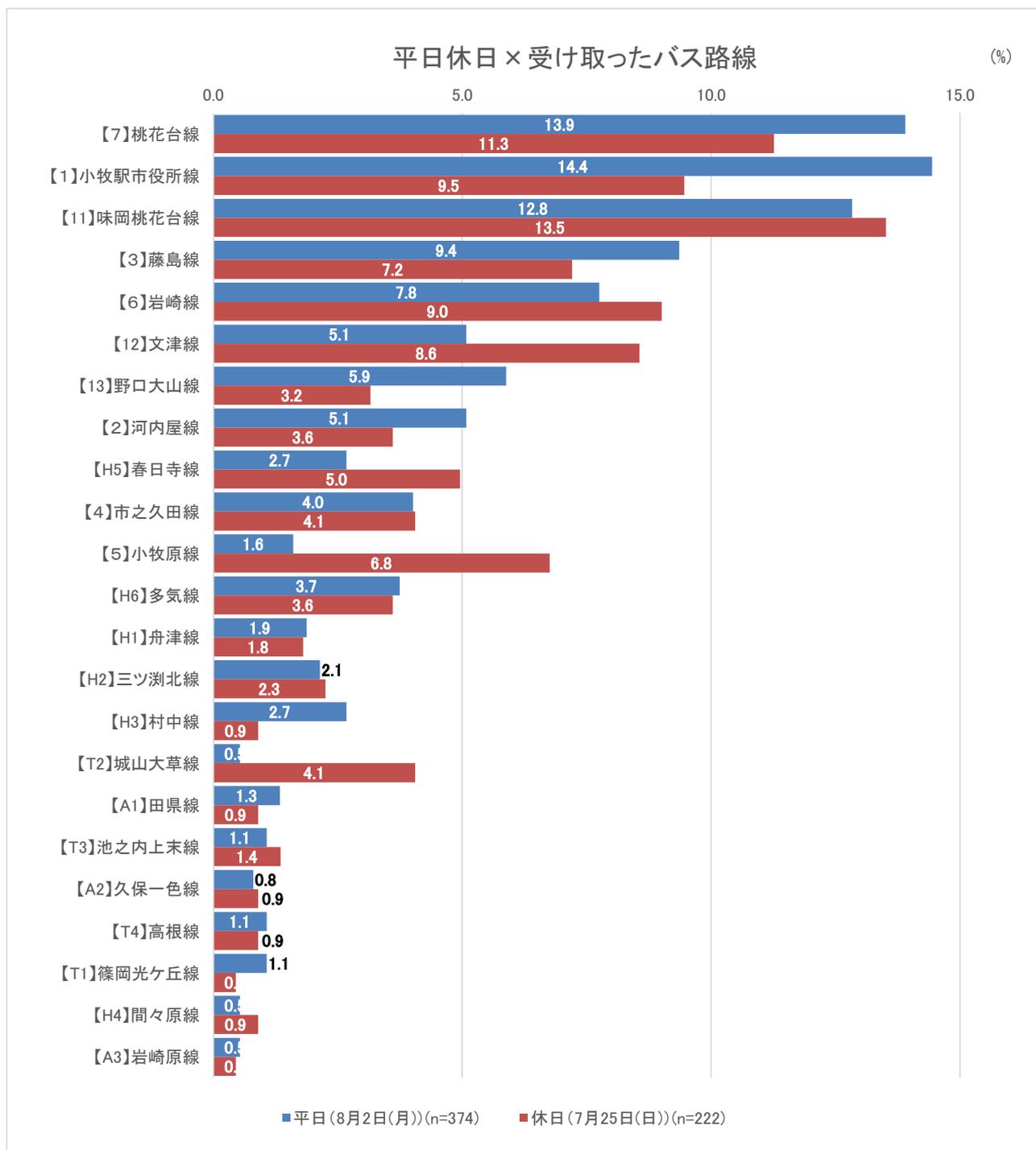


(2) アンケートを受け取った当日のバス利用について

※アンケートを複数受け取った方は、最初に受け取ったバスについて回答

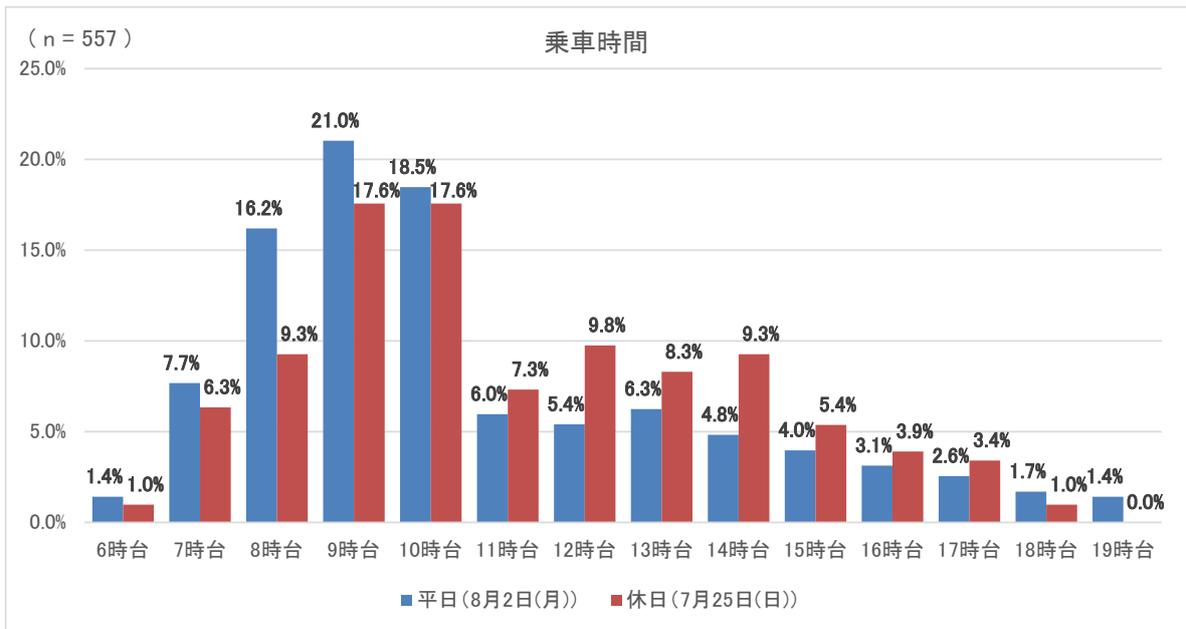
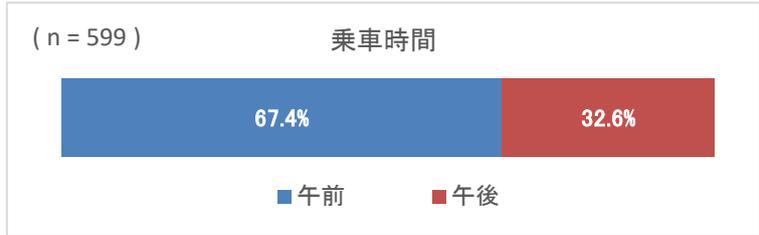
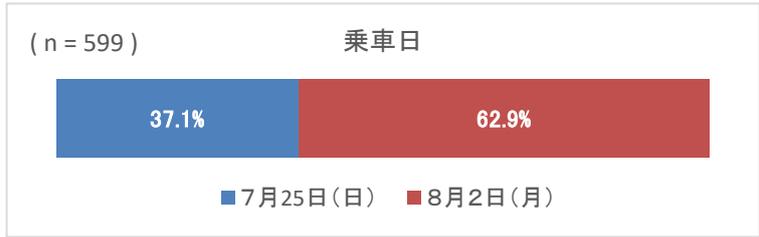
【問2】 このアンケートをどの路線で受け取りましたか。

- 平日では、「【1】小牧駅市役所線」の割合が約14%と最も高く、次いで、「【7】桃花台線」が約14%となっている。
- 休日では、「【11】味岡桃花台線」の割合が約14%と最も高く、次いで、「【7】桃花台線」が約11%となっている。



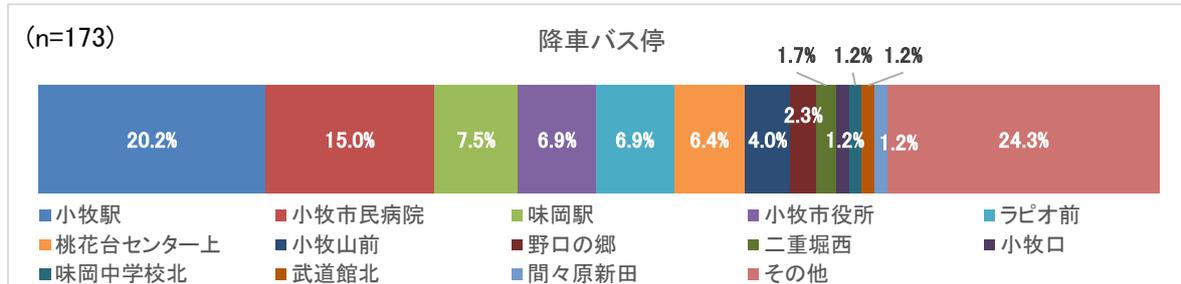
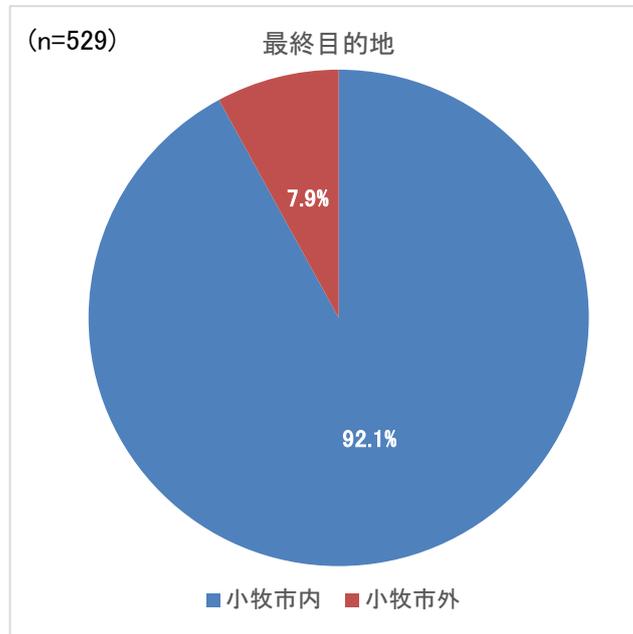
【問3】 アンケートを受け取ったバスに乗車した日時と乗車したバス停を教えてください。

- 乗車日は「8月2日（月）」の割合が6割を占めている。
- 乗車時間は「午前」が約67%を占めている。



【問4】 アンケートを受け取ったバスを降りたバス停と最終目的地をご記入ください。

- 最終目的地については「小牧市内」が約92%を占める。
- 降車バス停については、「小牧駅」の割合が約20%と最も高く、次いで、「小牧市民病院」、「味岡駅」の順になっている。



▼その他バス停（1票）

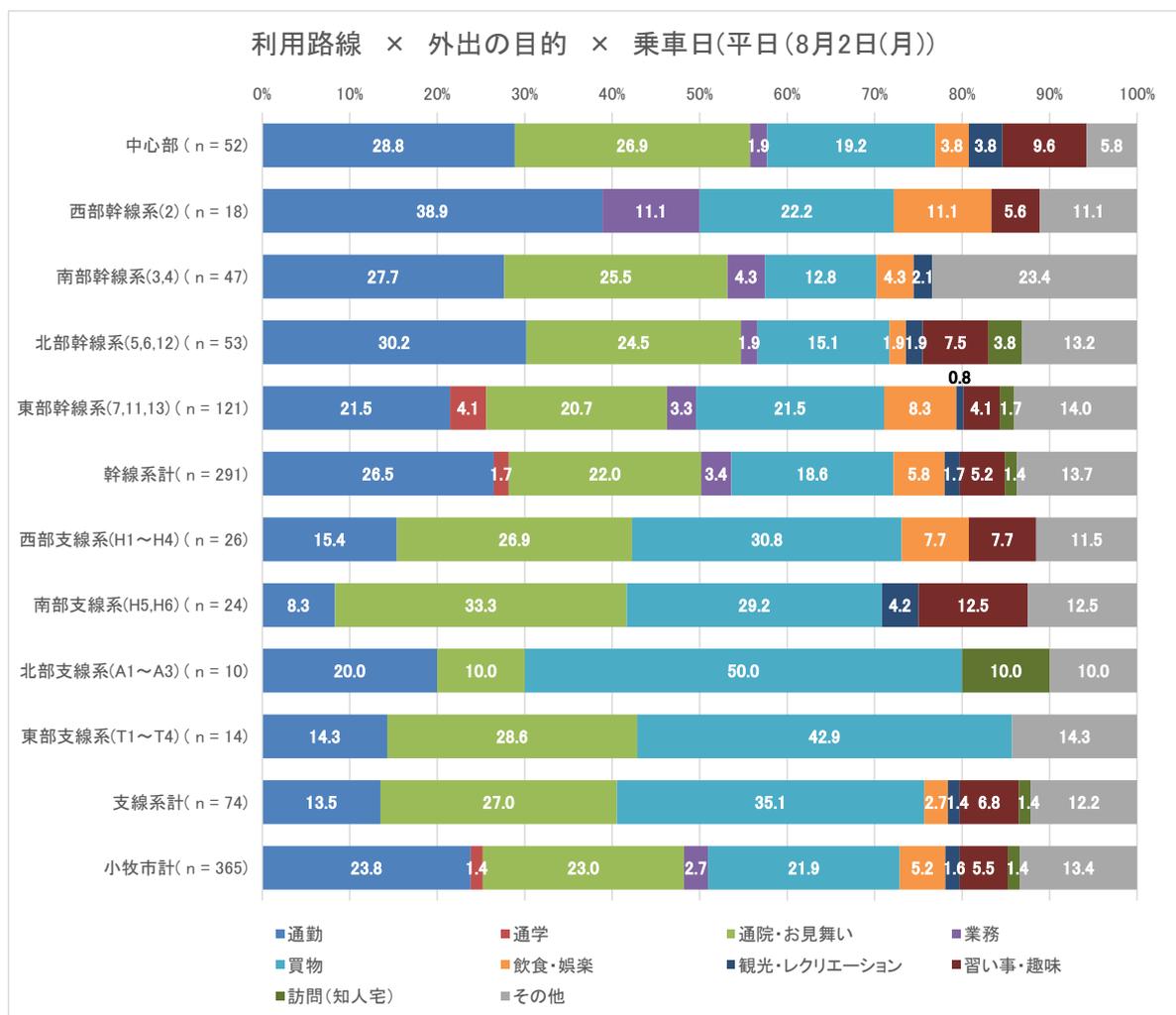
No.	その他バス停名称	No.	その他バス停名称
1	小針	22	味岡口
2	東部市民センター	23	小牧駅西
3	中央三丁目	24	池之内東
4	城見橋東	25	本庄東
5	市之久田幼稚園前	26	小牧原
6	二重堀南	27	小牧ようてい記念病院西
7	消防署前	28	岩崎山前
8	総合運動公園東	29	小牧中学校前
9	小牧山	30	市民会館南
10	たがた苑団地	31	市民会館前
11	岩崎南	32	雉子野北
12	米野小学校南	33	間々原新田北
13	小牧郵便局南	34	高根北
14	寺浦	35	林
15	曙町	36	文津
16	野口高畑	37	桃花台センター東
17	小牧警察署前	38	懐町
18	メナード美術館前	39	池之内西
19	第一病院前	40	陶保育園前
20	入鹿出新田西	41	エコハウス・小牧
21	二重堀北	42	総合運動場前

※路線分類の対応表

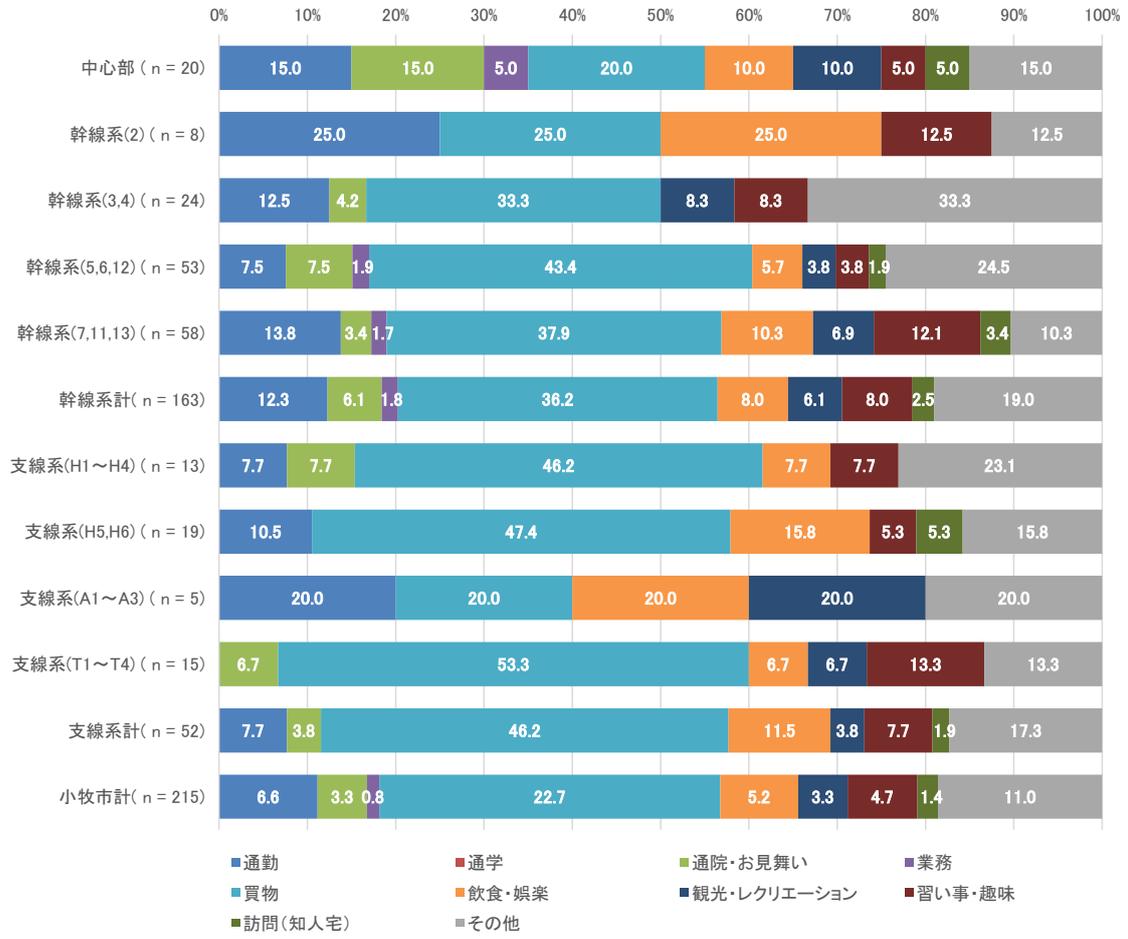
No.	名称	路線番号	
		幹線系	支線系
1	中心部	1	
2	西部	2	H1 H2 H3 H4
3	南部	3 4	H5 H6
4	北部	5 6 12	A1 A2 A3
5	東部	7 11 13	T1 T2 T3 T4

【問5】アンケートを受け取った日の外出目的を教えてください。

- 市全体では、「買物」の割合が約 28%と最も高く、次いで、「通勤」が約 19%、「通院・お見舞い」が約 17%となっている。
- 西部幹線系、南部幹線系では、「通勤」の割合が最も高く、その他の路線では、「買物」の割合が最も高くなっている。

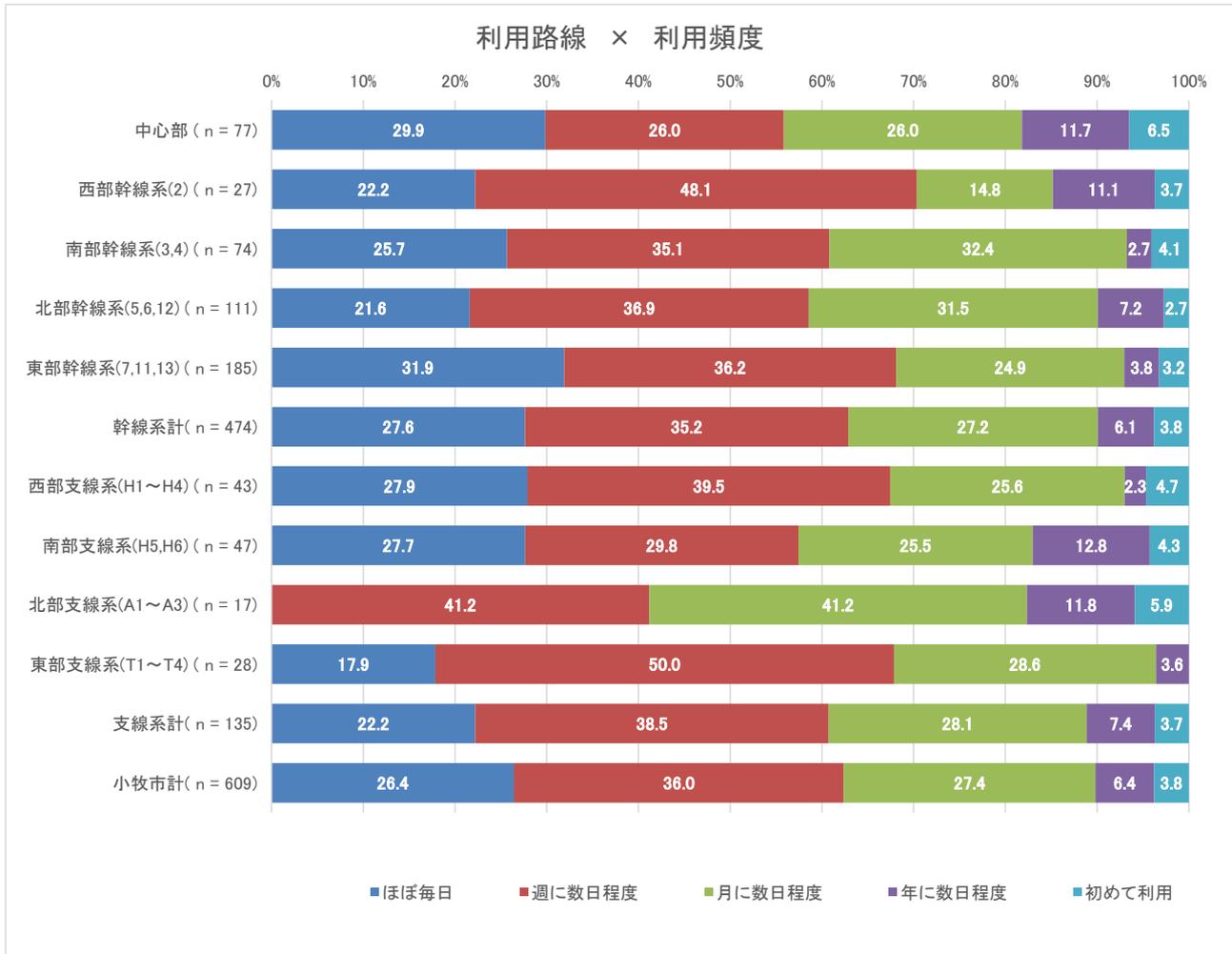


利用路線 × 外出の目的 × 乗車日(休日(7月25日(日)))



【問6】 アンケートを受け取ったバスはどの程度の頻度で利用されますか。

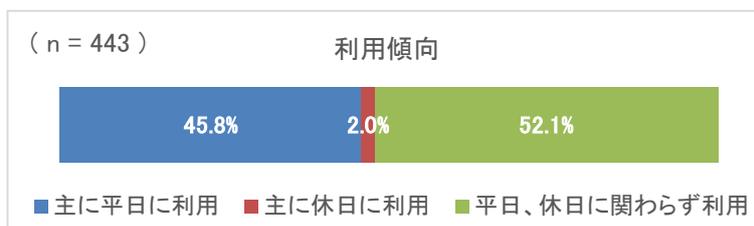
- 市全体では、「週に数日程度」の割合が36%と最も高く、次いで、「月に数日程度」、「ほぼ毎日」の順になっている。
- 北部支線系以外の路線では、週に数日程度以上（「ほぼ毎日」＋「週に数日程度」）の割合が過半数となっている。



【問7】 こまくるの利用傾向を教えてください。

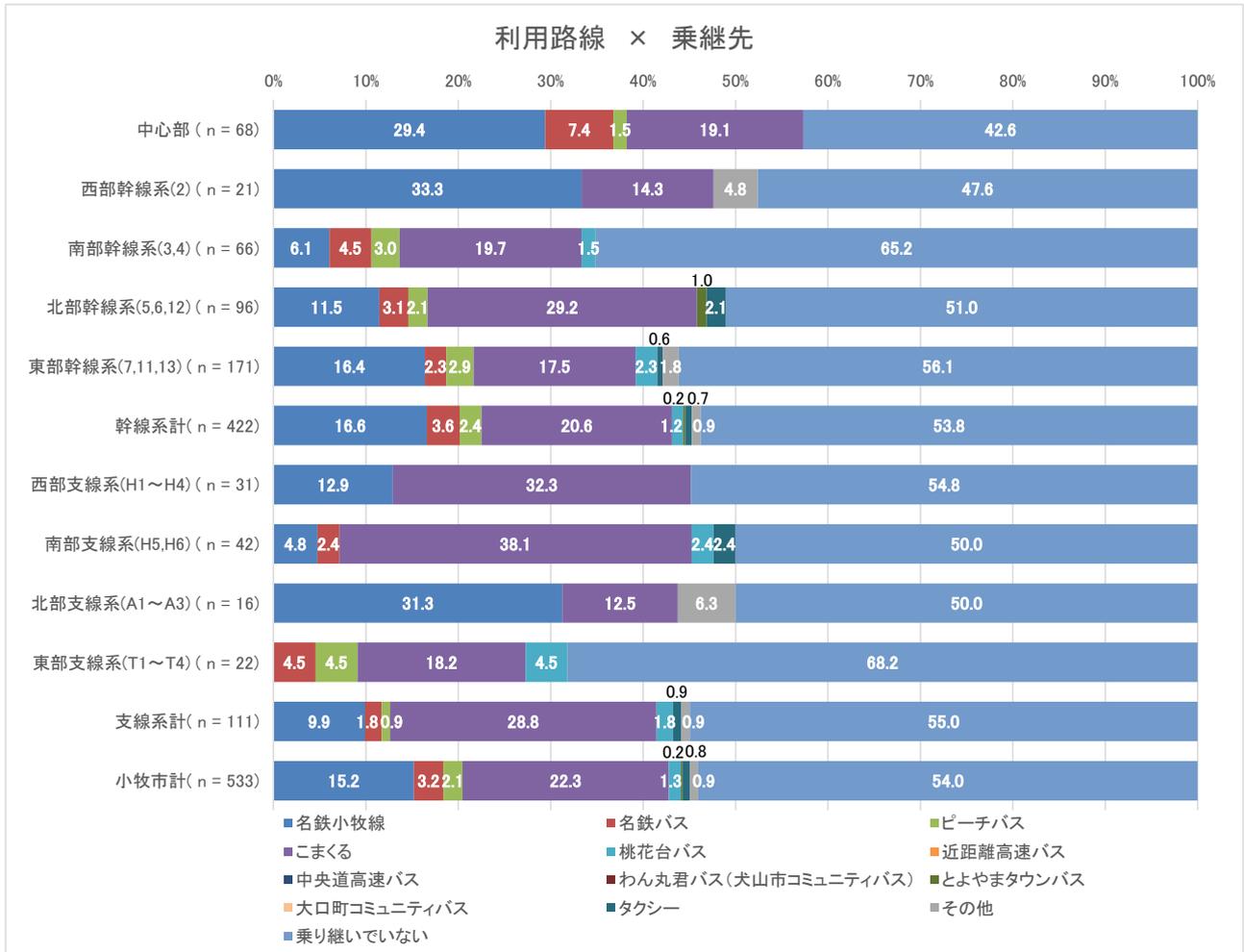
(問6で「ほぼ毎日」「週に数日程度」と回答した人のみ)

- 「平日、休日に関わらず利用」の割合が約52%と最も高く、次いで「主に平日に利用」の割合が約44%となっている。



**【問8】アンケートを受け取ったバスから他のこまくるの路線や他の交通機関へ乗り継ぎましたか
または、他の交通機関からアンケートを受け取ったバスへ乗り継ぎましたか。**

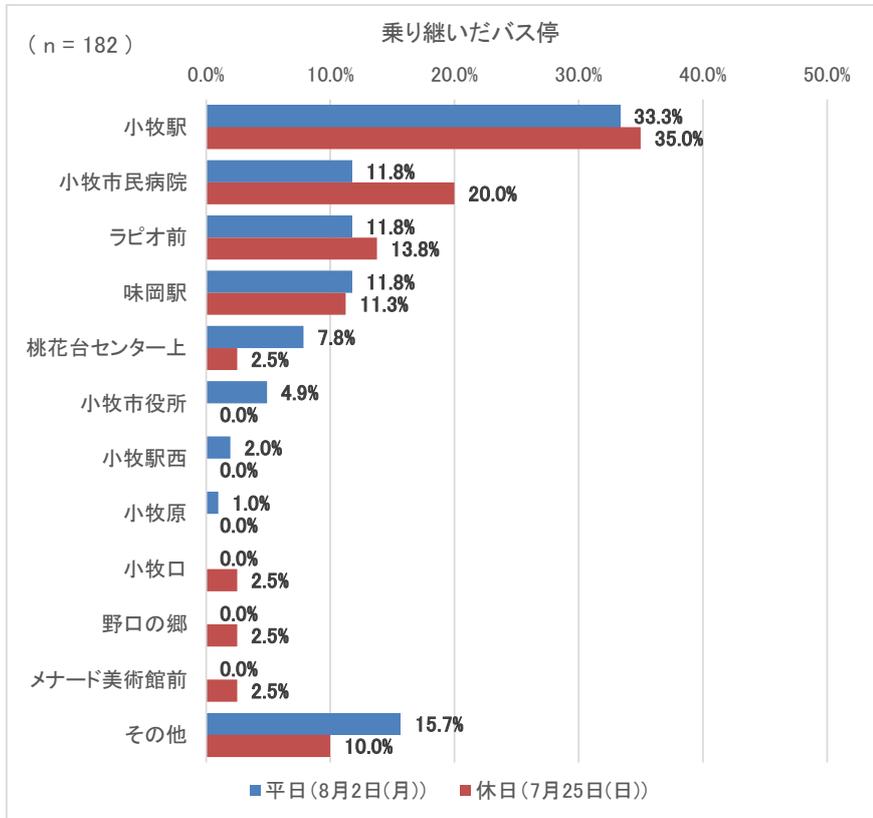
- 市全体では、「こまくる」の割合が約22%と最も高く、次いで「名鉄小牧線」の割合が約15%となっている。
- 「乗り継いでいない」を除いて、中心部、西部幹線系、北部支線系では「名鉄小牧線」の割合が最も高く、その他の路線では、「こまくる」の割合が最も高くなっている。



【問9】 乗り継いだこまくるのバス停を教えてください。

(問8で「乗り継いでいない」以外を回答した人のみ)

■ 「小牧駅」の割合が約 32%と最も高く、次いで「小牧市民病院」の割合が約 16%、「味岡駅」「ラピオ前」の割合が約 12%となっている。



▼その他バス停 (平日)

No.	その他バス停
1	高根
2	小針
3	田県神社前駅
4	西之島
5	文津
6	懐町
7	とみづか
8	小木南
9	雉子野北
10	池之内
11	消防署前
12	桃花台東
13	光ヶ丘二丁目
14	藤島団地

▼その他バス停 (休日)

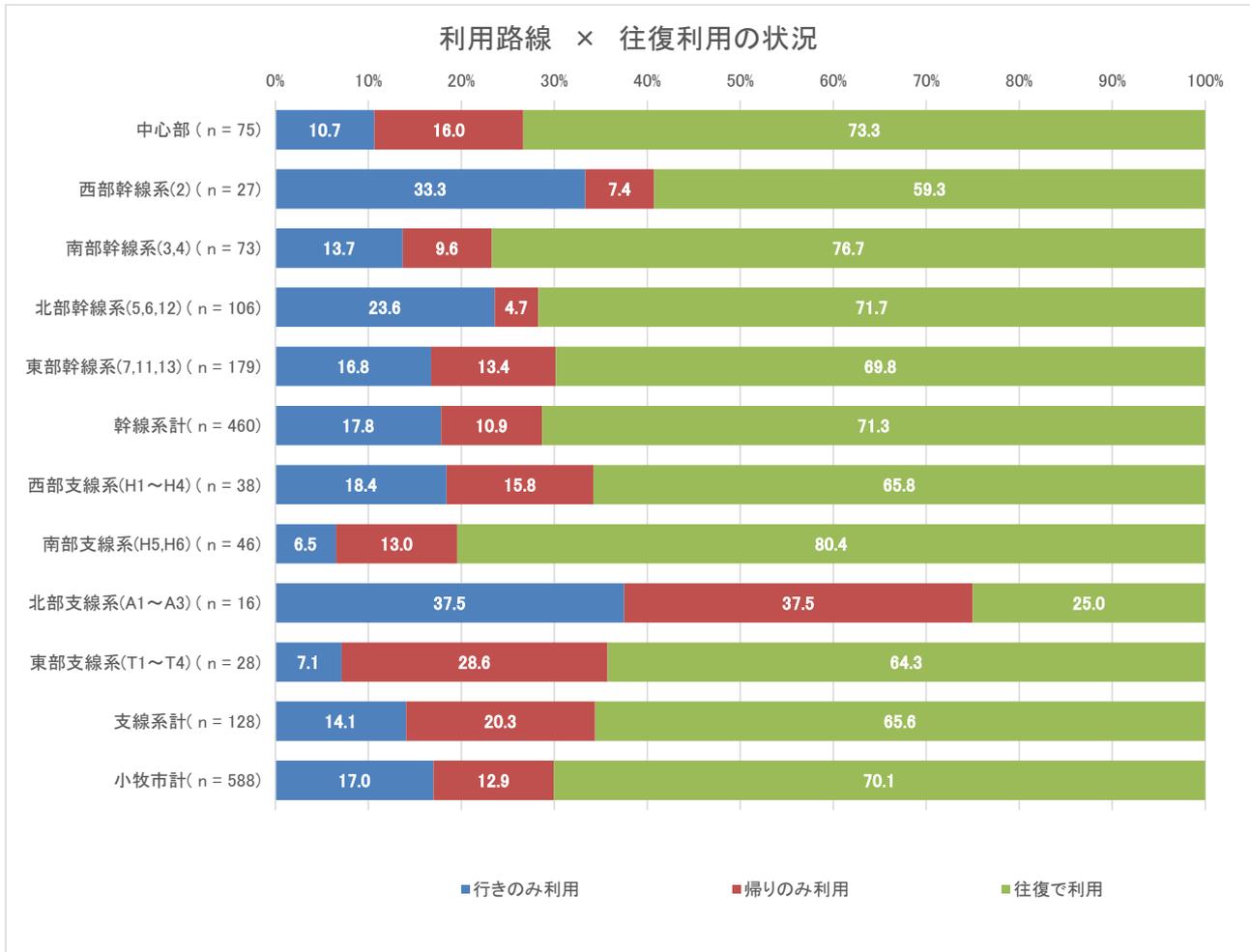
No.	その他バス停
1	岩崎団地
2	城見橋東
3	ゆう友せいび
4	間々原新田
5	小牧山前

▼その他バス停 (不明)

No.	その他バス停
1	市之久田北
2	北外山

【問 10】 アンケートを受け取った当日は往復でこまくるを利用しましたか。

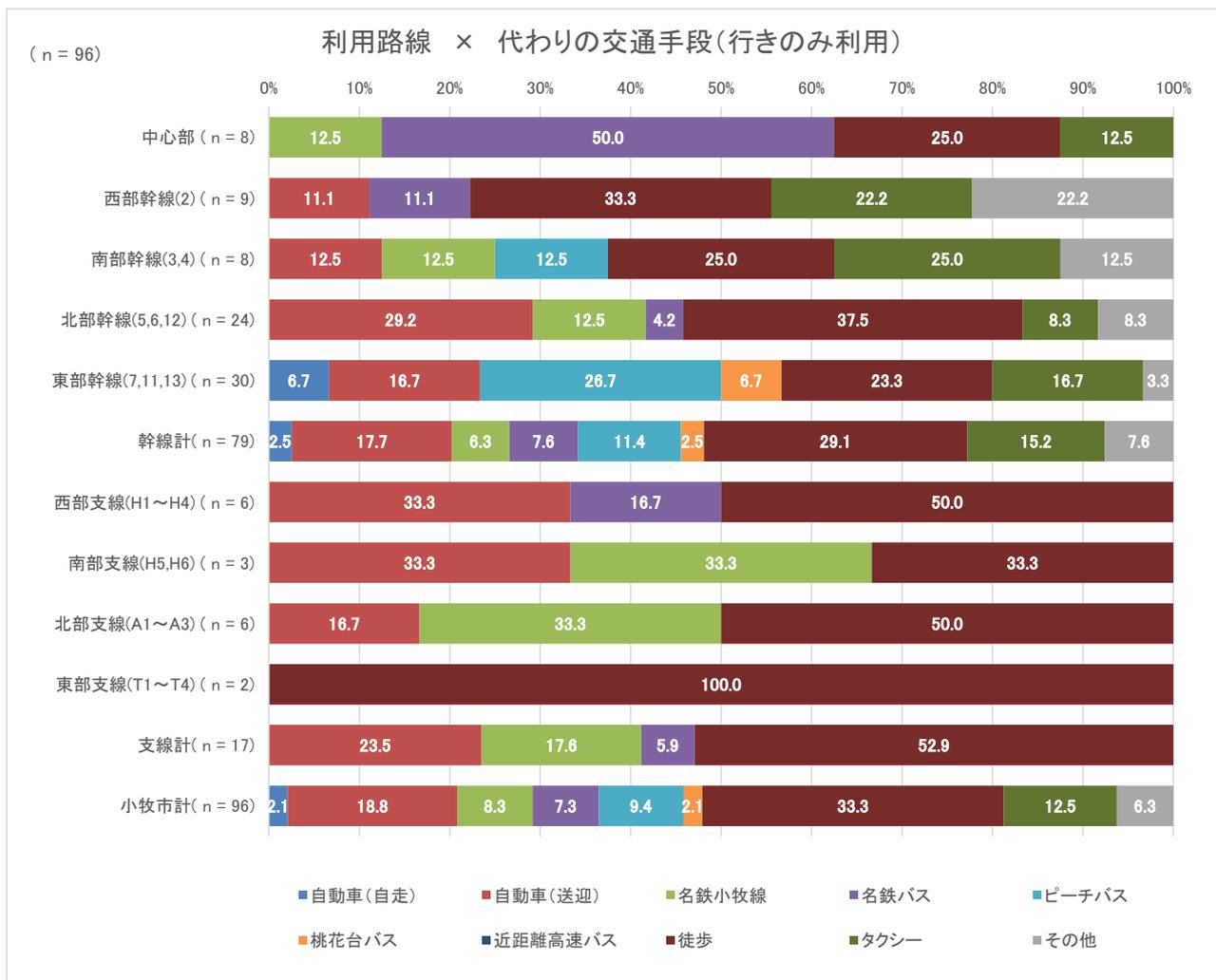
- 北部支線系以外の路線では、「往復で利用」の割合が約6割以上を占めている。
- 北部支線系では、往復利用の割合が低く、25%となっている。



【問 11】 アンケートを受け取ったバスの代わりに、行きまたは帰りに利用した交通手段を教えてください。

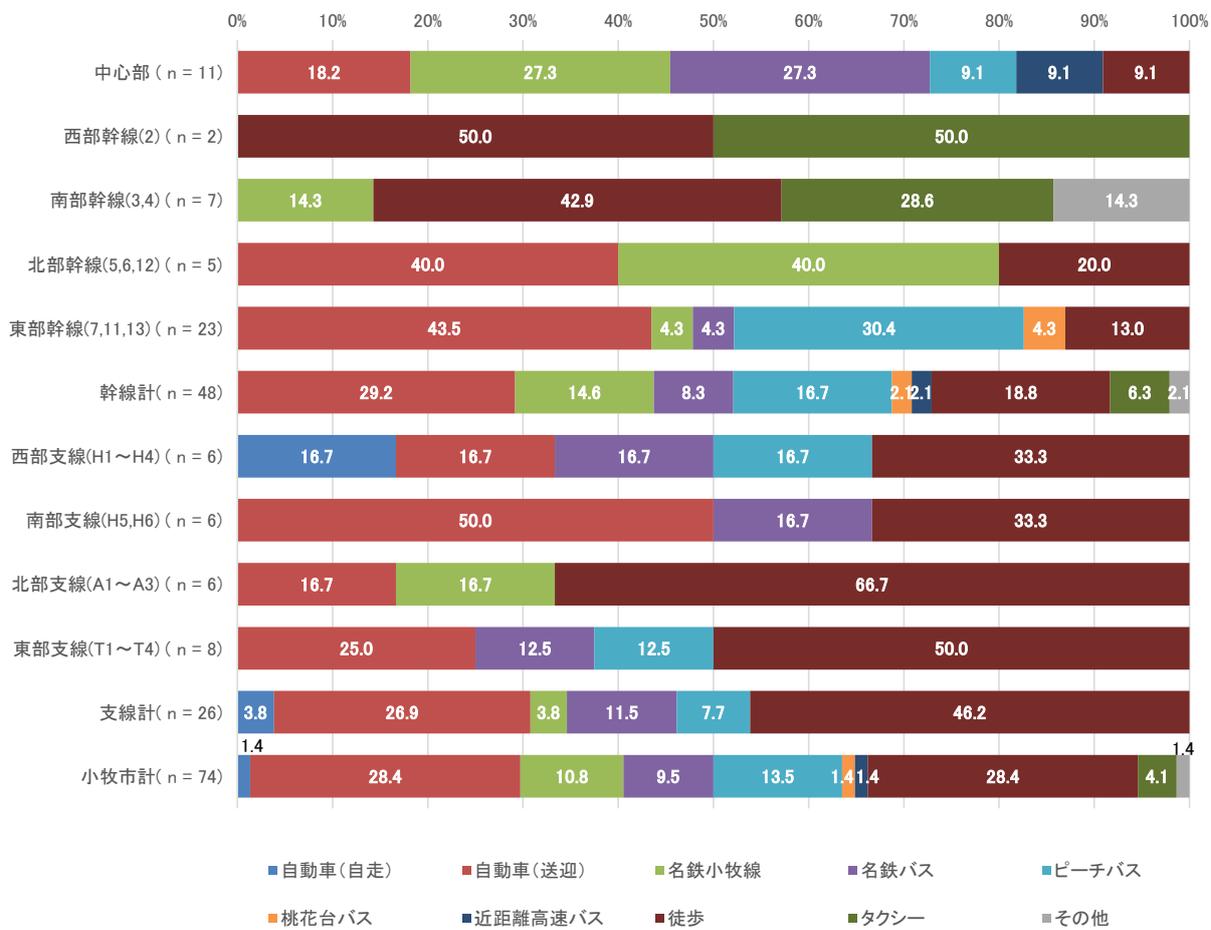
(問 10 で「行きのみ利用」「帰りのみ利用」と回答した人のみ)

- 行きのみ利用した人で、市全体では、「徒歩」の割合が約 33%と最も高く、次いで「自動車(送迎)」の割合が約 20%となっている。
- 行きのみ、帰りのみ利用した人どちらにおいても、西部幹線系、南部幹線系では「タクシー」の割合が比較的高い。また、中心部では、「名鉄バス」の割合が最も高い。西部支線系、北部支線系、東部支線系では、「徒歩」の割合が過半数となっている。



(n = 75)

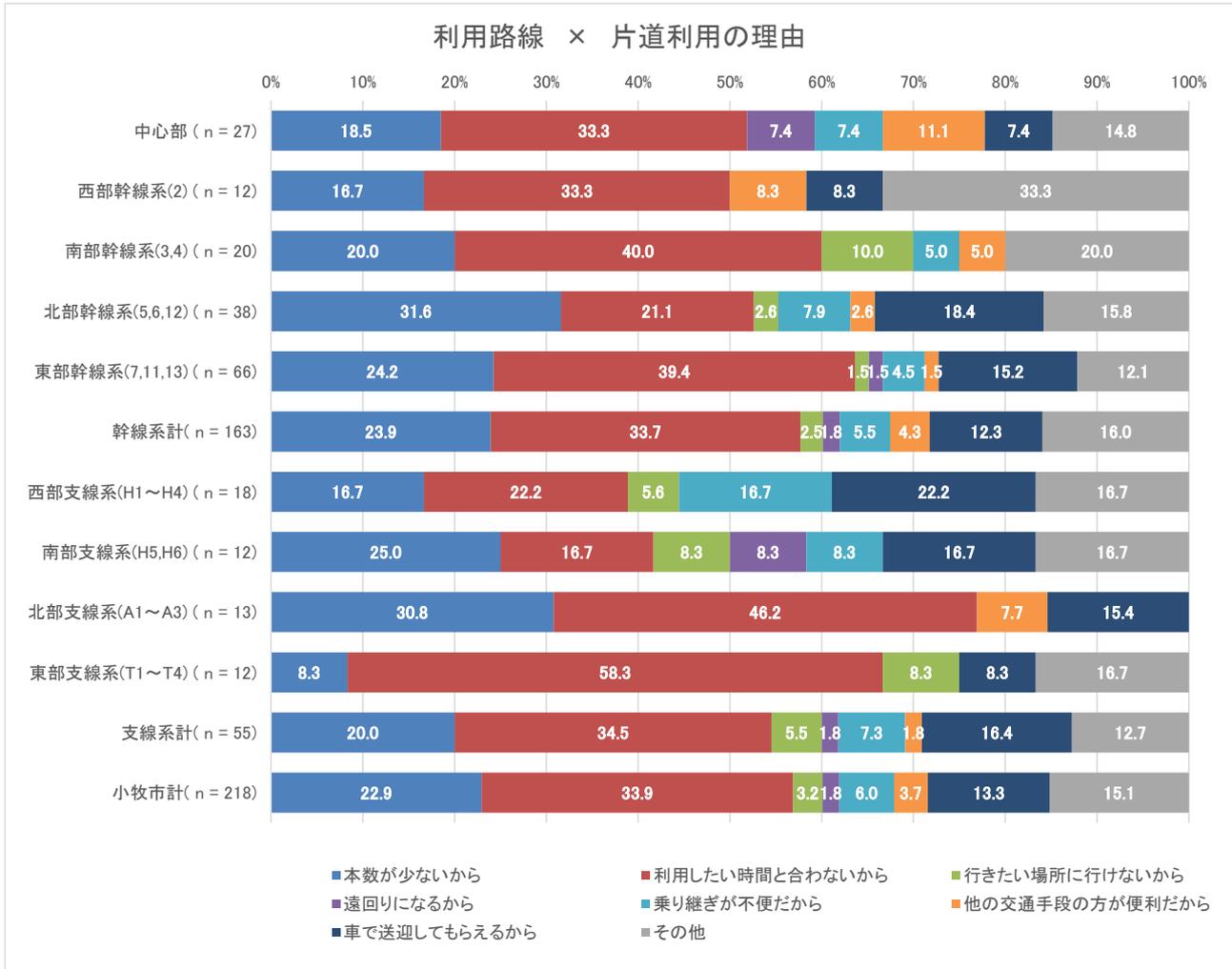
利用路線 × 代わりの交通手段(帰りのみ利用)



【問 12】 こまくるを片道のみ利用した理由を教えてください。

(問 10 で「行きのみ利用」「帰りのみ利用」と回答した人のみ)

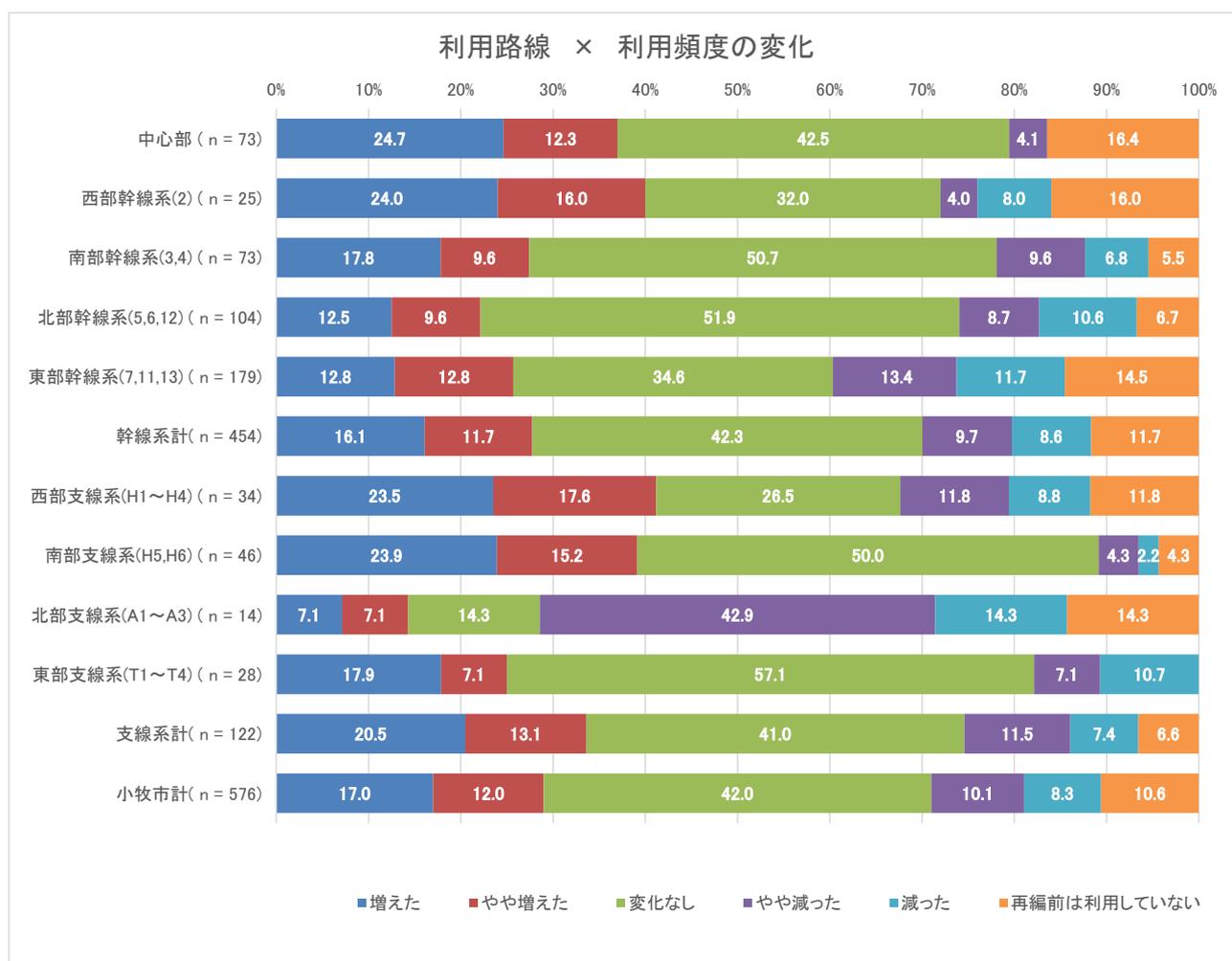
- 市全体では、「利用したい時間と合わないから」の割合が約 34%と最も高く、次いで「本数が少ないから」が約 23%、「車で送迎してもらえから」の割合が約 13%となっている。
- 北部幹線系、南部支線系以外では、「利用したい時間と合わないから」の割合が高くなっている。
- 北部幹線系、南部支線系では、「本数が少ないから」の割合が最も高くなっている。



(3)再編前後のバス利用実態・意向の変化について

【問 13】 再編後、こまくるの利用頻度は変わりましたか。

- 市全体では、「変化なし」の割合が約 42%と最も高い。また、増えた（「増えた」＋「やや増えた」）の割合は 29%、減った（「減った」＋「やや減った」）の割合は約 18%となっている。
- 中心部、西部、南部、東部では増えた（「増えた」＋「やや増えた」）の割合が減った（「減った」＋「やや減った」）の割合より高い。
- 北部支線系では、増えた（「増えた」＋「やや増えた」）の割合が約 14%で、減った（「減った」＋「やや減った」）の割合が約 57%を占める。



【問 14】再編後にこまくなるがよくなった、利用しづらくなったりと感じる点をそれぞれ教えてください。また、選択した項目についてのご意見があれば、具体的に記述欄にご記入ください。

(問 13 で「再編前は利用していない」以外を回答した方のみ)

※得点：1 位は 3 点、2 位は 2 点、3 位は 1 点とした加重和

①よくなった点

- 中心部では、「小牧駅～小牧市民病院～小牧市役所を約 15 分に 1 本の間隔でピストン運行するようになった」の割合が約 38%と最も高い。
- 西部幹線系、東部幹線系では、「目的地に到着するまでの時間が短くなった」の割合が最も高い。南部幹線系、北部幹線系では、「小牧駅～小牧市民病院～小牧市役所を約 15 分に 1 本の間隔でピストン運行するようになった」の割合が最も高い。
- 西部支線系では、「自宅や目的地からバス停が近くなった」の割合が最も高い。南部支線系、北部支線系では、「車両が大きくなり、定員オーバーで乗れないことがなくなった」の割合が最も高い。東部支線系では、「時刻表通りに運行するようになった」の割合が最も高い。

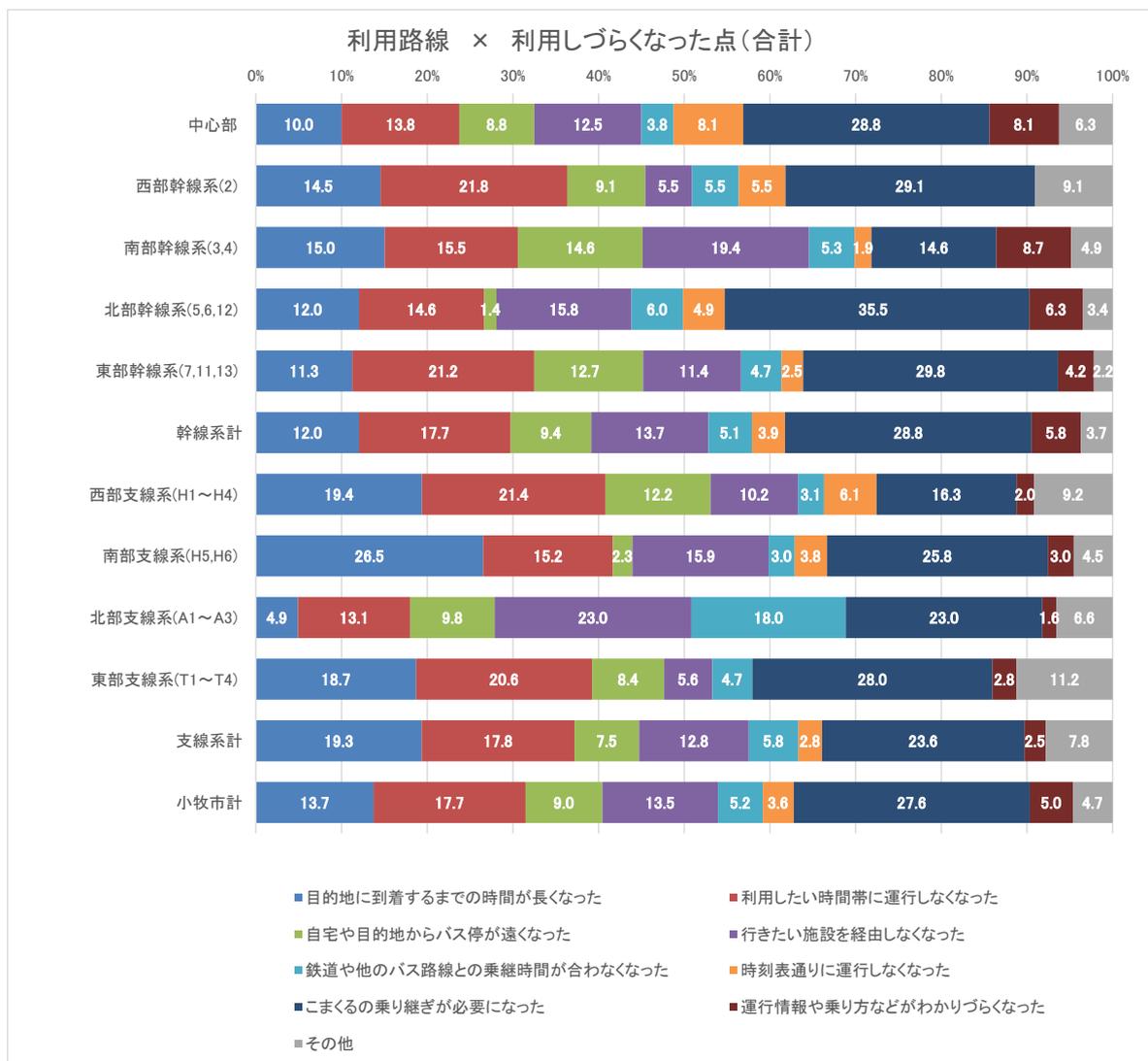


②利用しづらくなった点

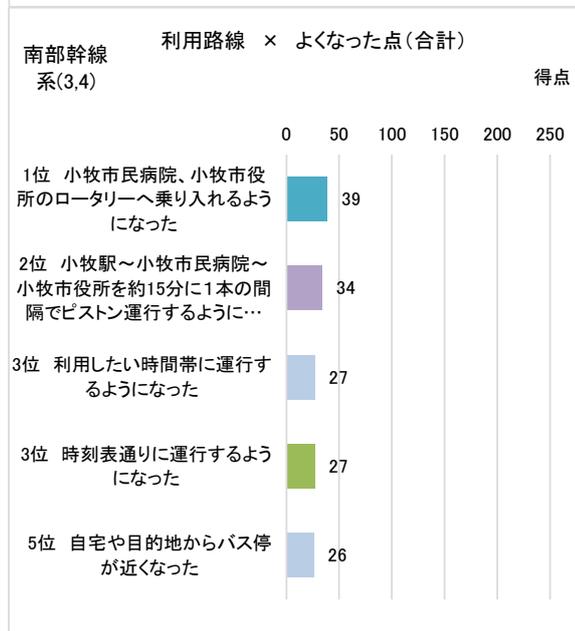
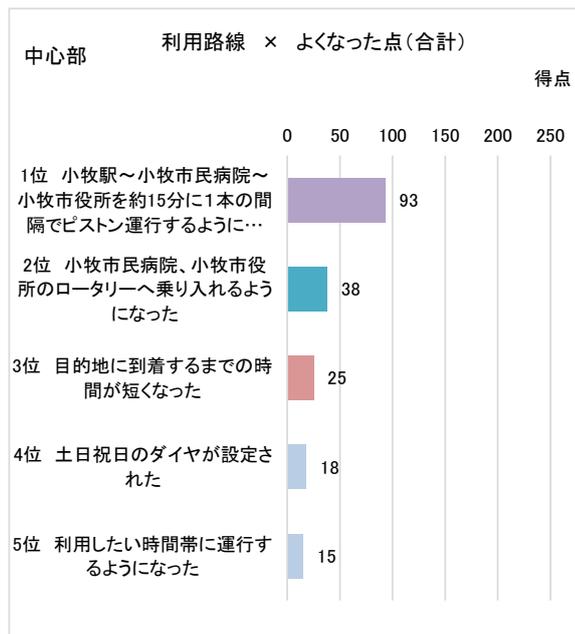
■中心部では、「こまくるの乗り継ぎが必要になった」の割合が約29%と最も高い。

■西部幹線系、東部幹線系では、「こまくるの乗り継ぎが必要になった」の割合が約30%と最も高い。南部幹線系では、「行きたい施設を経由しなくなった」の割合が約19%と最も高い。北部幹線系では、「こまくるの乗り継ぎが必要になった」の割合が約36%と最も高い。

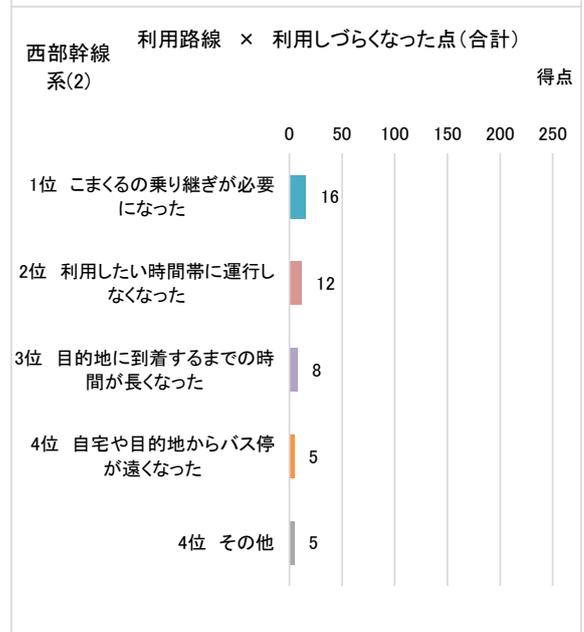
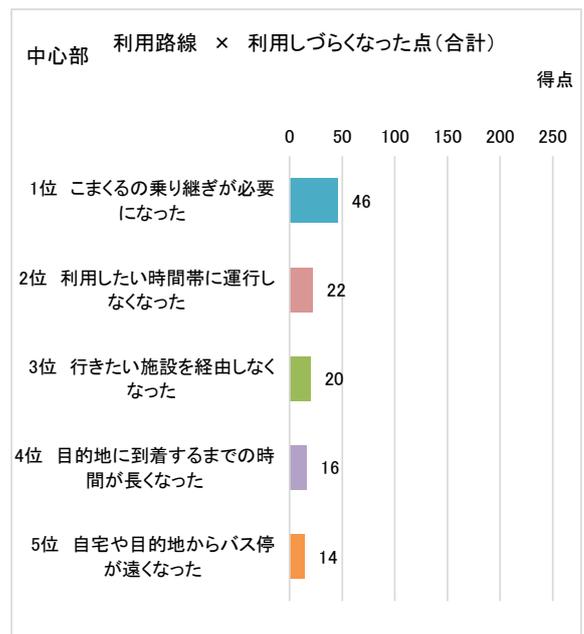
■西部支線系では、「利用したい時間帯に運行しなくなった」の割合が約21%と高い。南部支線系では、「目的地に到着するまでの時間が長くなった」の割合が約27%と最も高い。また、北部支線系では、「行きたい施設を経由しなくなった」、「こまくるの乗り継ぎが必要になった」の割合が23%と最も高い。東部支線系では、「こまくるの乗り継ぎが必要になった」の割合が約28%と高い。



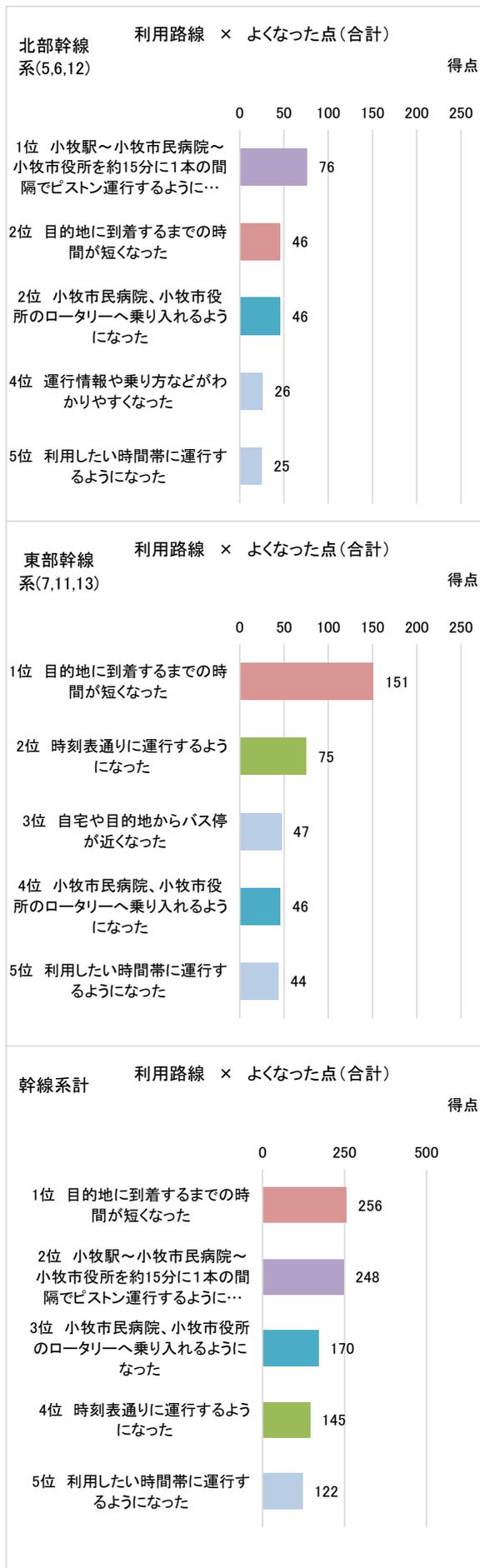
利用路線別よくなった点・利用しづらくなった点 ※得点：1位は3点、2位は2点、3位は1点とした加重和
 <よくなった点>



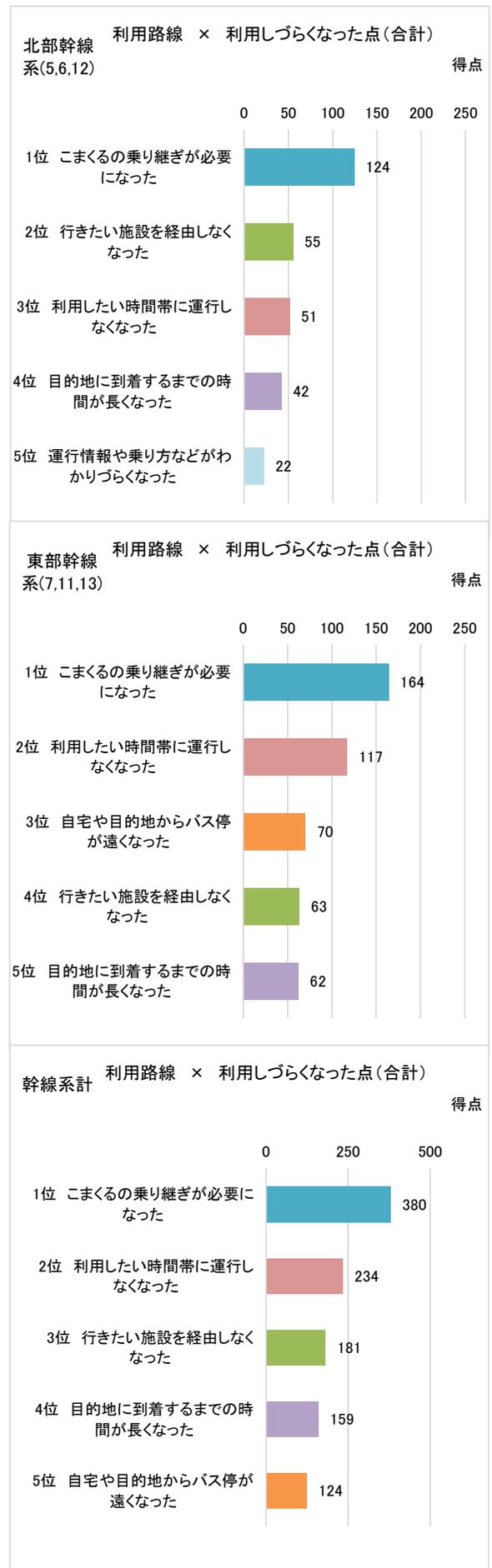
<利用しづらくなった点>



<よくなった点>



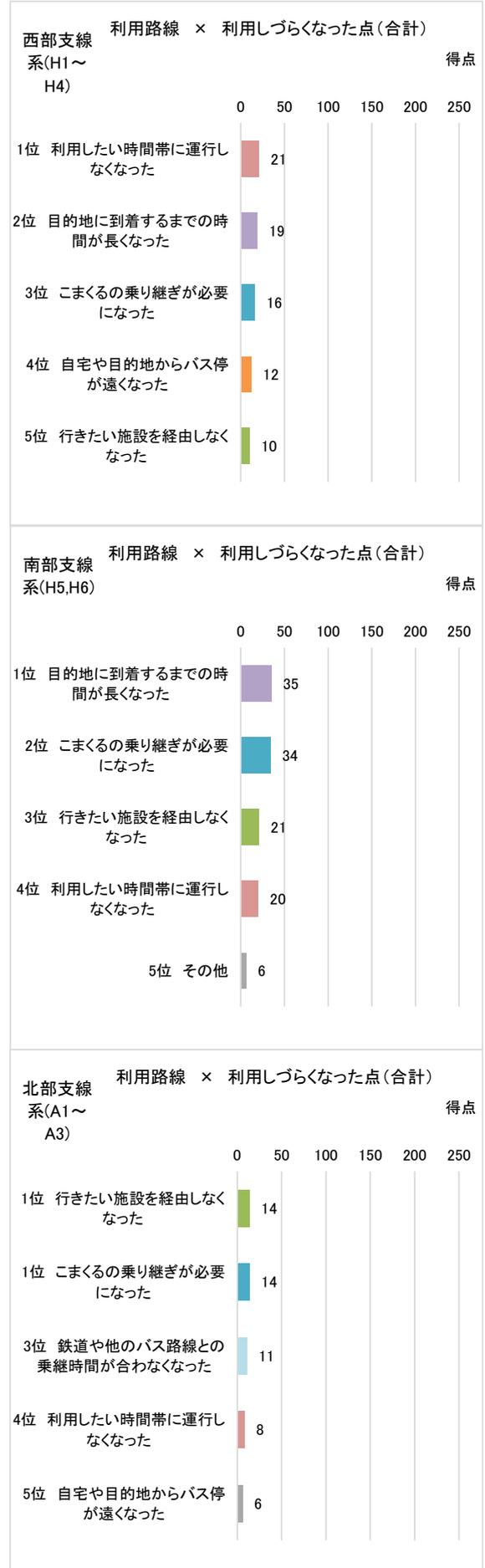
<利用しづらくなった点>



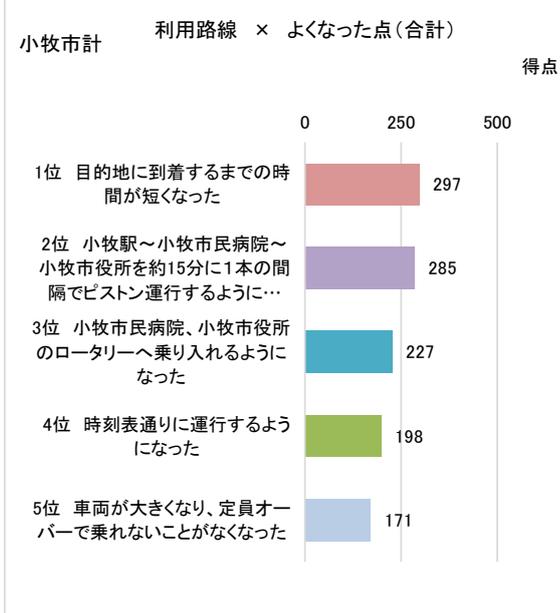
<よくなった点>



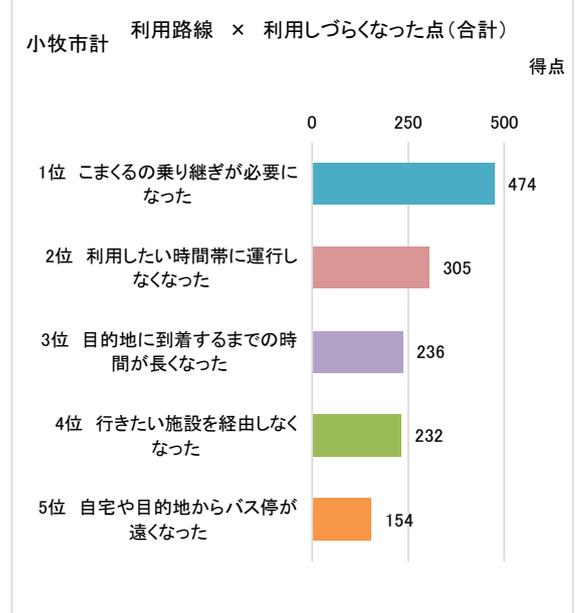
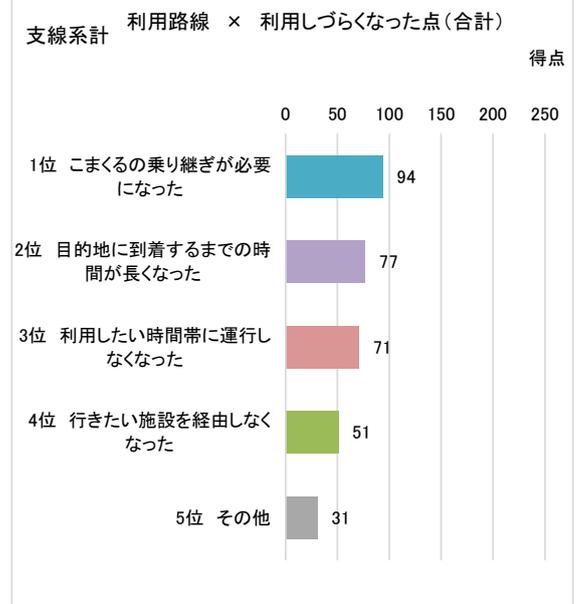
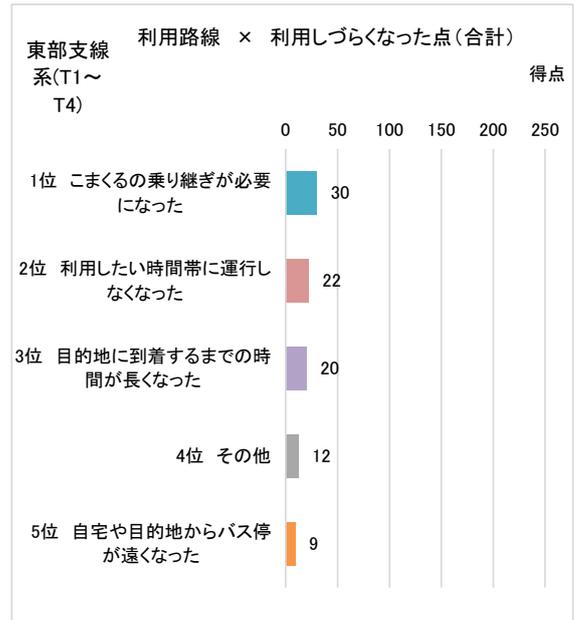
<利用しづらくなった点>



<よくなった点>



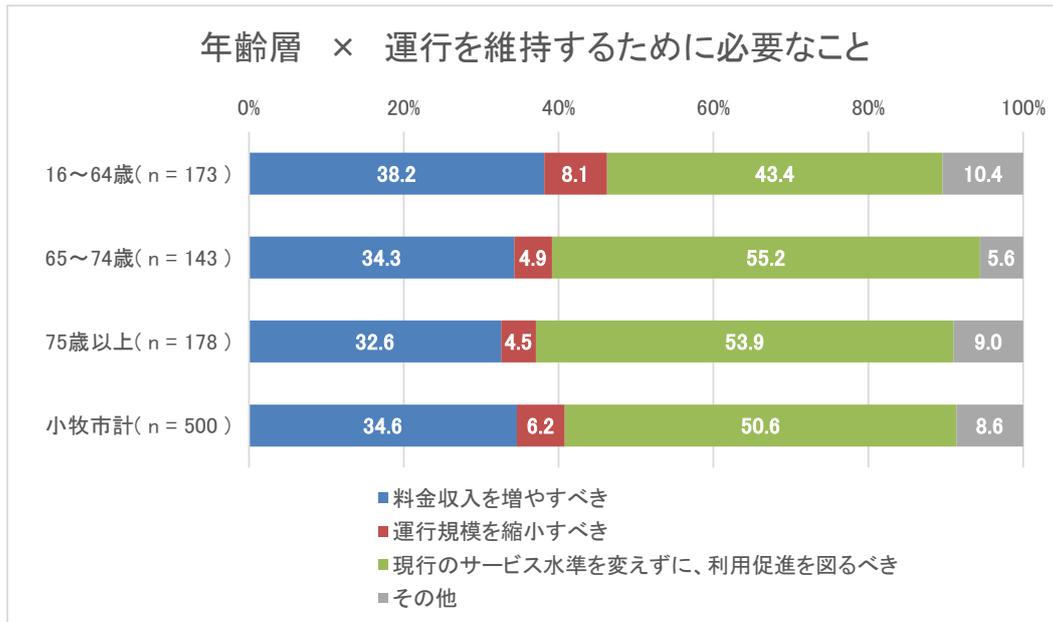
<利用しづらくなった点>



(4)こまくるの経費について

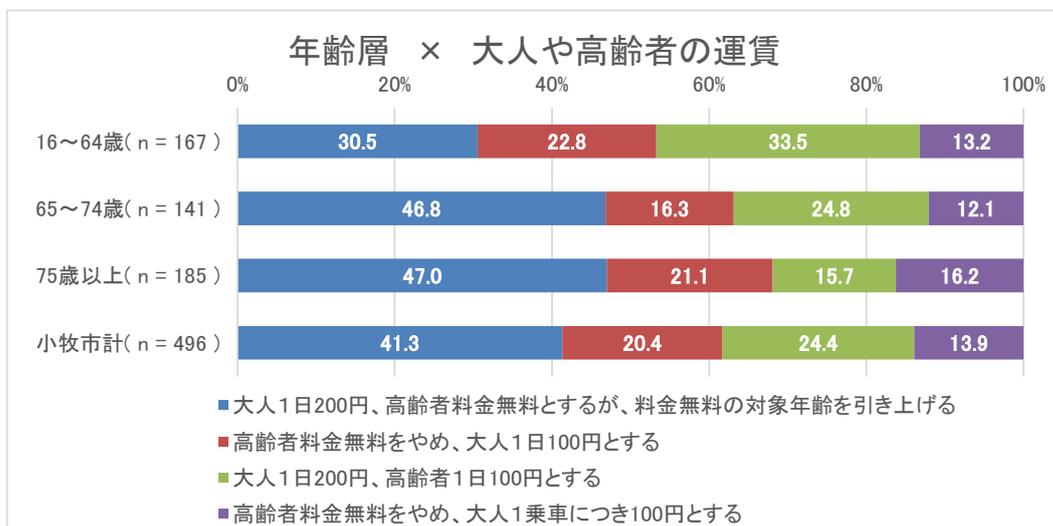
【問 15-①】 今後も、こまくるの運行を維持・存続していくために、必要なことは何だと思えますか。

- 65 歳以上では、「現行のサービス水準を変えずに、利用促進を図るべき」の割合が 50%以上と最も高く、次いで、「料金収入を増やすべき」の割合が 30%程度となっている。
- 16～64 歳では、「現行のサービス水準を変えずに、利用促進を図るべき」の割合が約 43%であり、「料金収入を増やすべき」の割合が約 38%となっている。



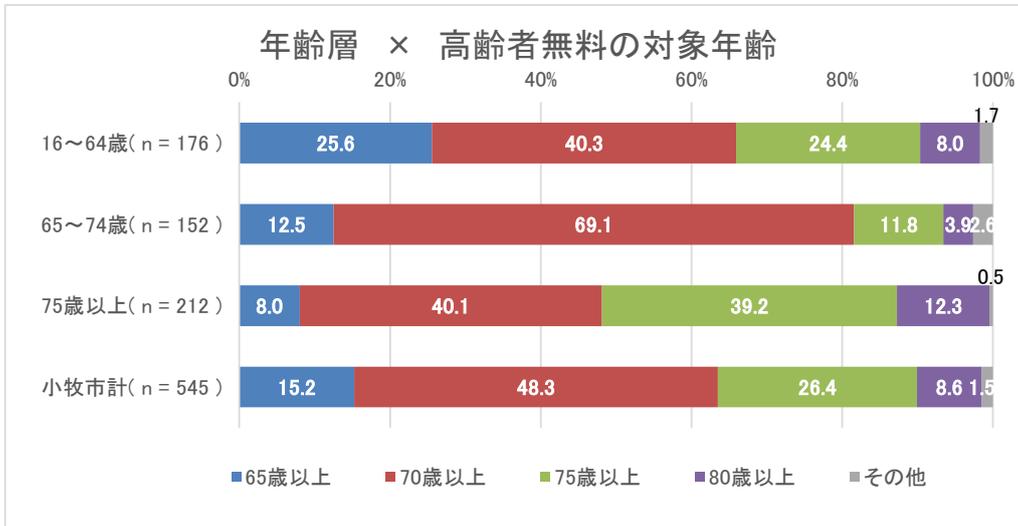
【問 15-②】 仮に料金収入を増やすとすれば、大人や高齢者の運賃をどのようにすればよいと思えますか。

- 16～64 歳では、「大人 1 日 200 円、高齢者 1 日 100 円とする」の割合が約 34%と最も高い。
- 65 歳以上では、「大人 1 日 200 円、高齢者料金無料とするが、料金無料の対象年齢を引き上げる」の割合が約 42%と最も高い。



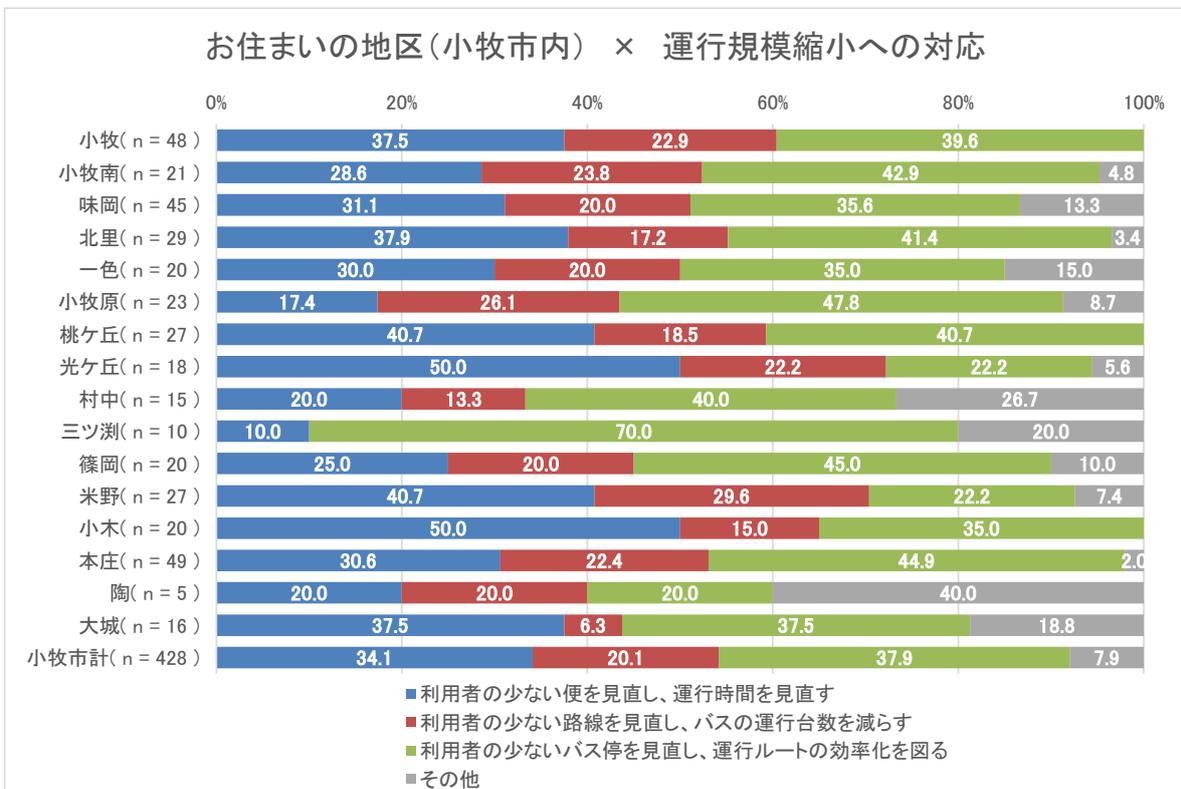
【問 15-③】 現在、65 歳以上の方はこまくるの料金は無料ですが、仮に高齢者料金無料の対象年齢を引き上げる場合、何歳以上が妥当だと思いますか。

- どの年齢層においても、「70 歳以上」の割合が最も高い。
- 他の年齢層と比べ 65～74 歳では、「70 歳以上」の割合が約 69%と高くなっている。



【問 15-④】 仮に運行規模を縮小する場合、どのような対応が妥当だと思いますか。

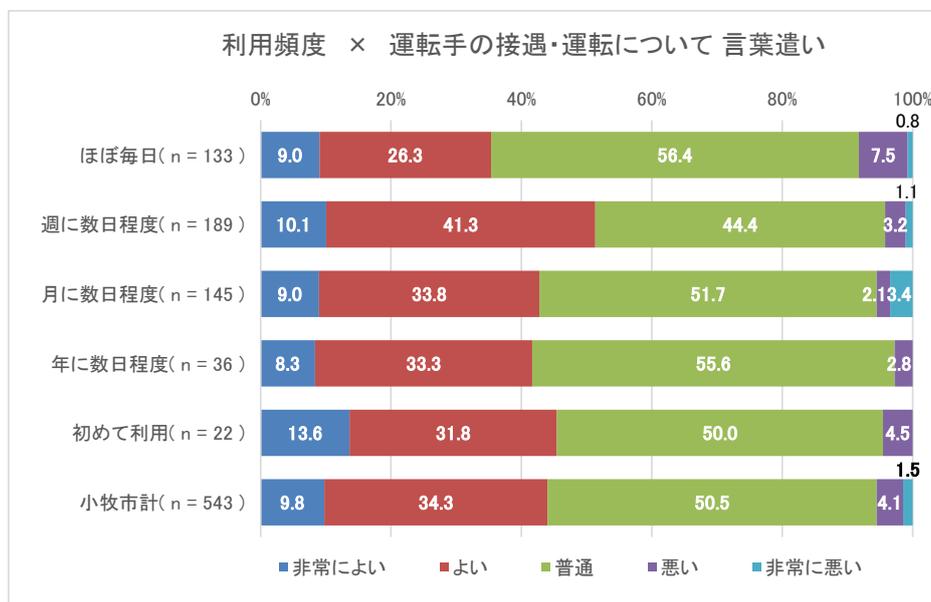
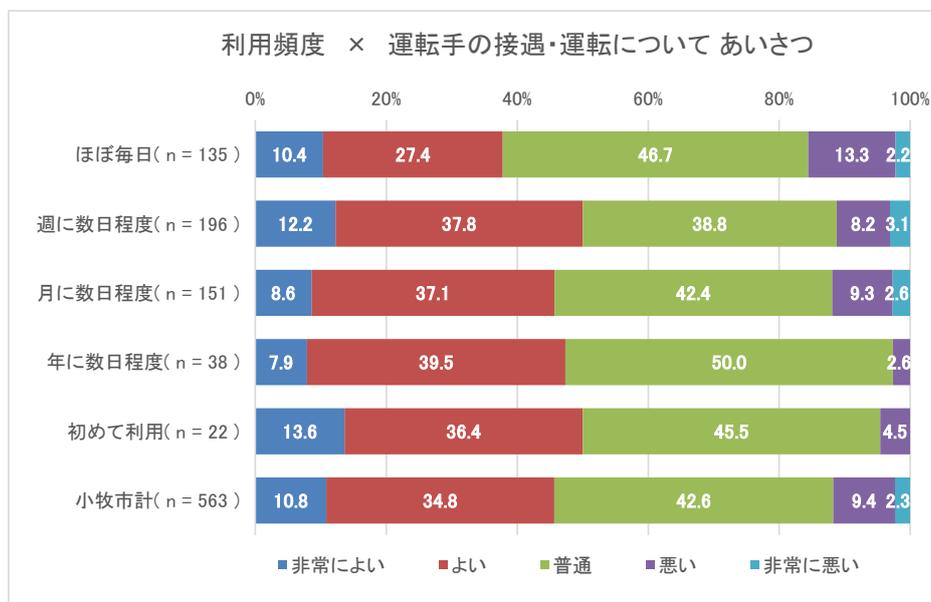
- 市全体では、「利用者の少ないバス停を見直し、運行ルート効率化を図る」の割合が約 38%と最も高く、次いで、「利用者の少ない便を見直し、運行時間を見直す」の割合が約 34%、「利用者の少ない路線を見直し、バスの運行台数を減らす」の割合が約 20%となっている。

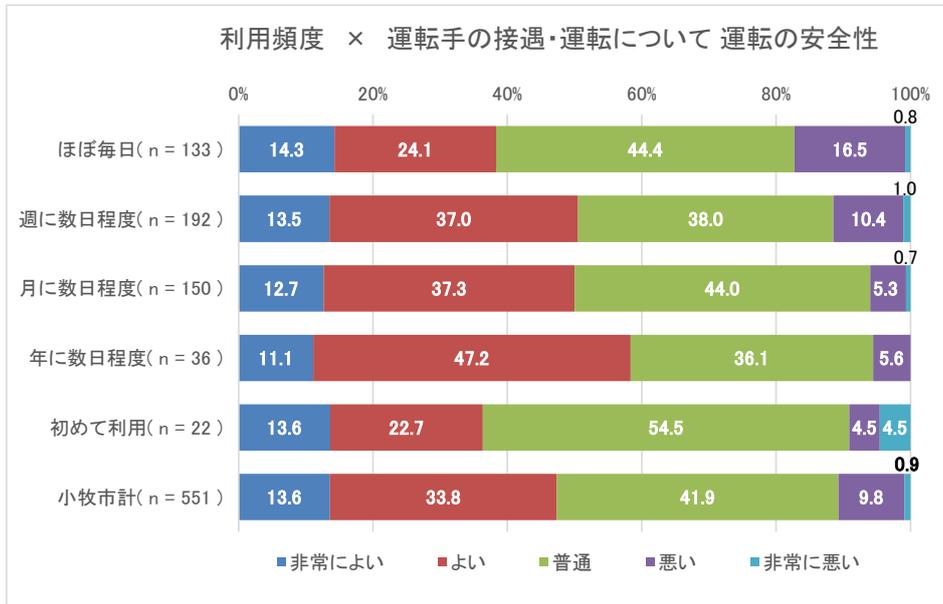
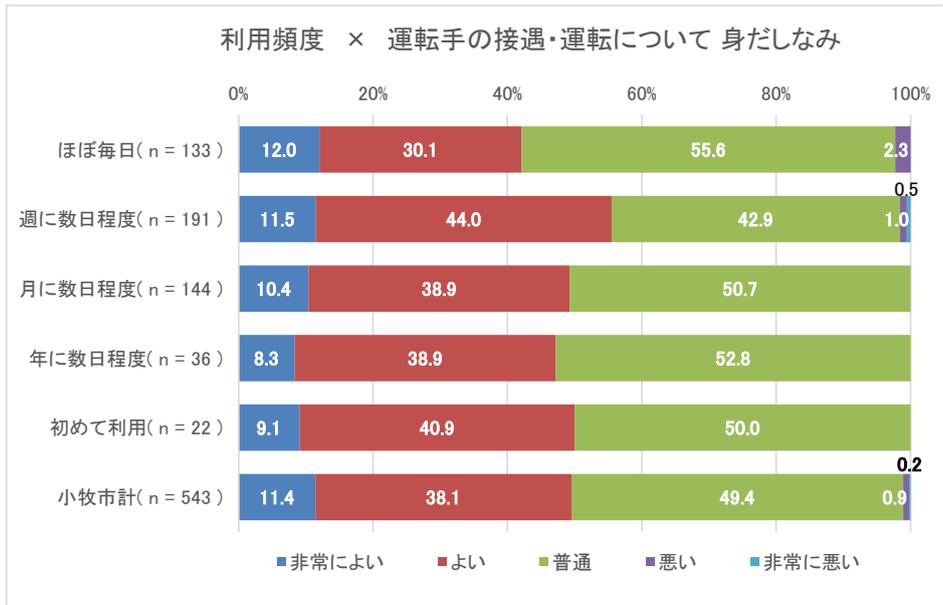


(5)こまくるの運転手について

【問 16】 こまくるの運転手の接遇・運転についてそれぞれ5段階で評価してください。

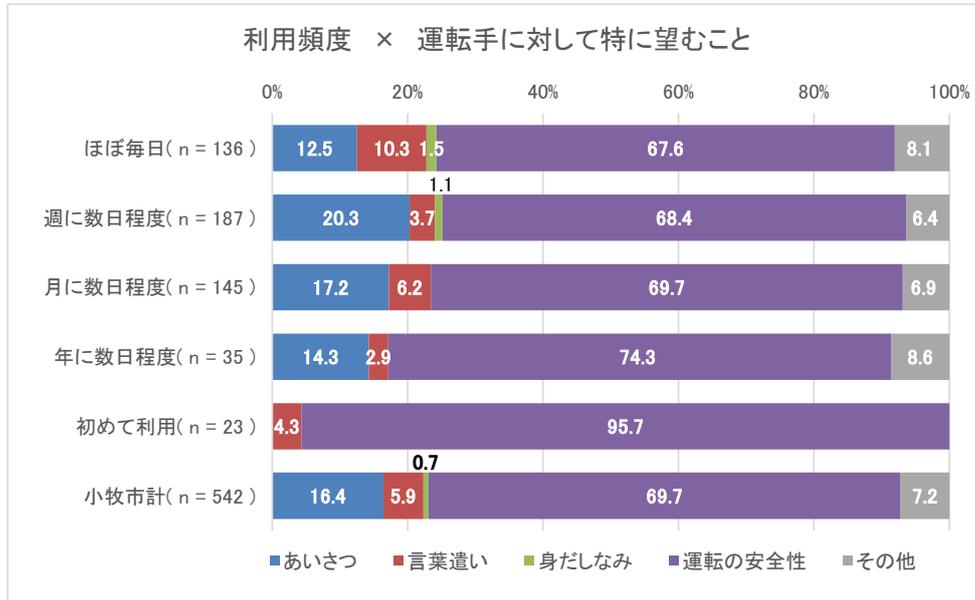
- 市全体では、すべての項目において「非常によい」と「よい」を足し合わせると50%前後となっている。
- 身だしなみについて、市全体では「悪い」と「非常に悪い」の割合がほぼ0となっている。





【問 17】 運転手に対して特に望むものを教えてください。

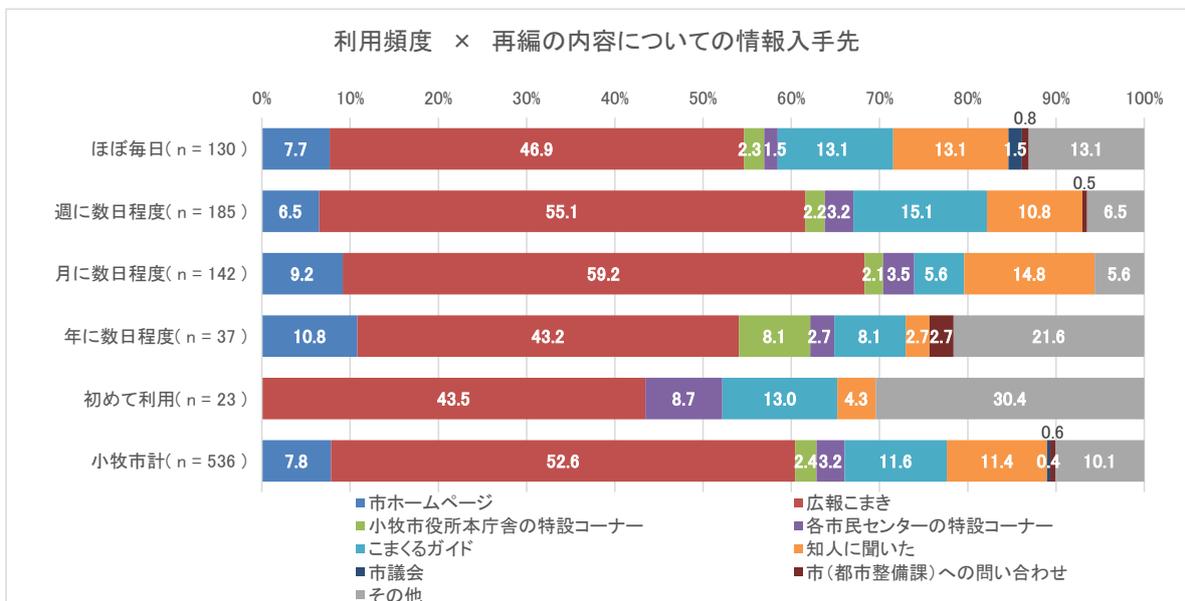
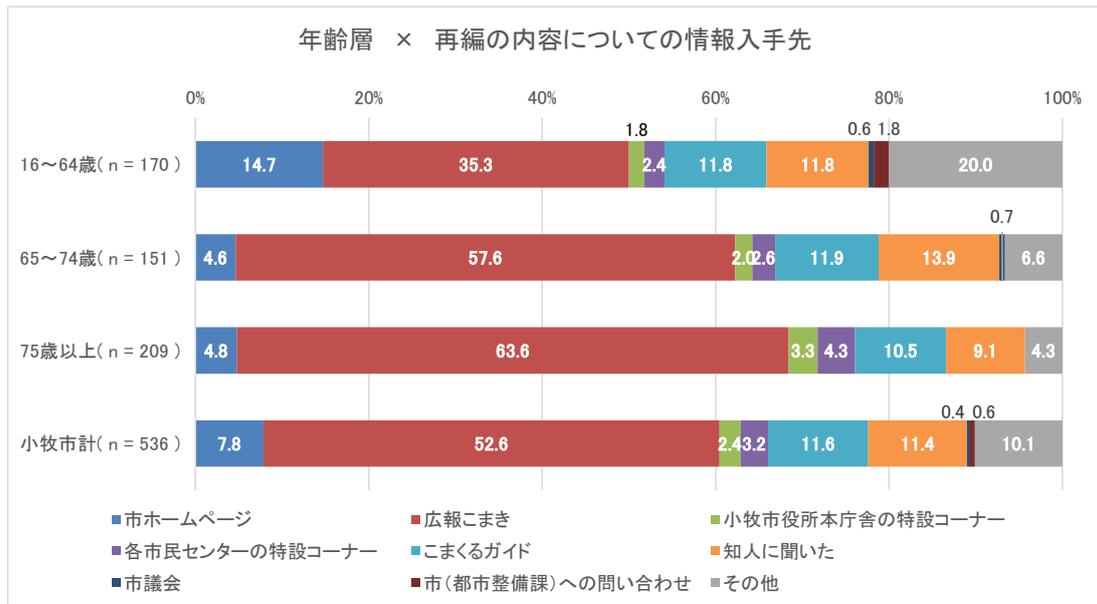
- 初めて利用する人は、「運転の安全性」の割合が約 96%を占める。
- 初めて利用する人以外では、「運転の安全性」の割合が約 68~74%と最も高く、次いで、「あいさつ」が約 13~20%となっている。



(6)こまくるの周知・サービスについて

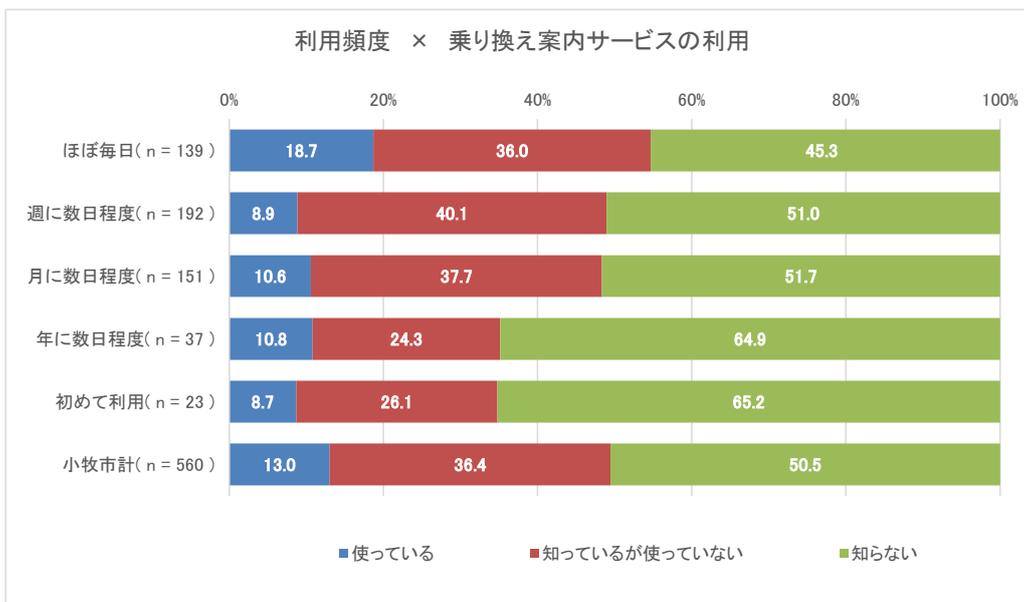
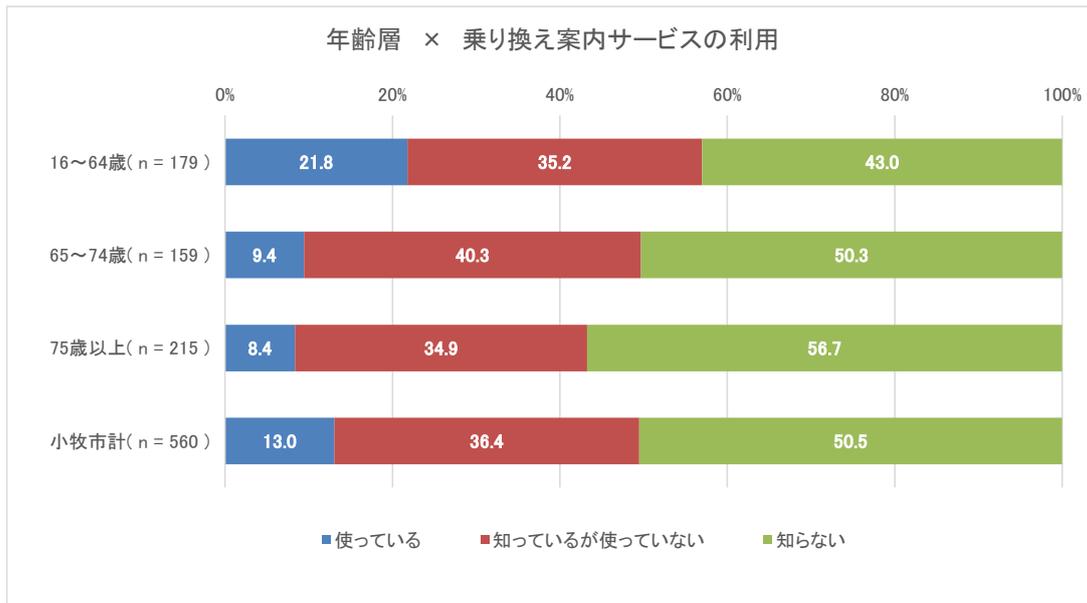
【問 18】再編の内容について、何で知りましたか。

- 市全体では、「広報こまき」の割合が約 53%と最も高く、次いで、「こまくるガイド」、「知人に聞いた」の順に高くなっている。
- 65 歳以上では、「広報こまき」の割合が半数以上となっている。

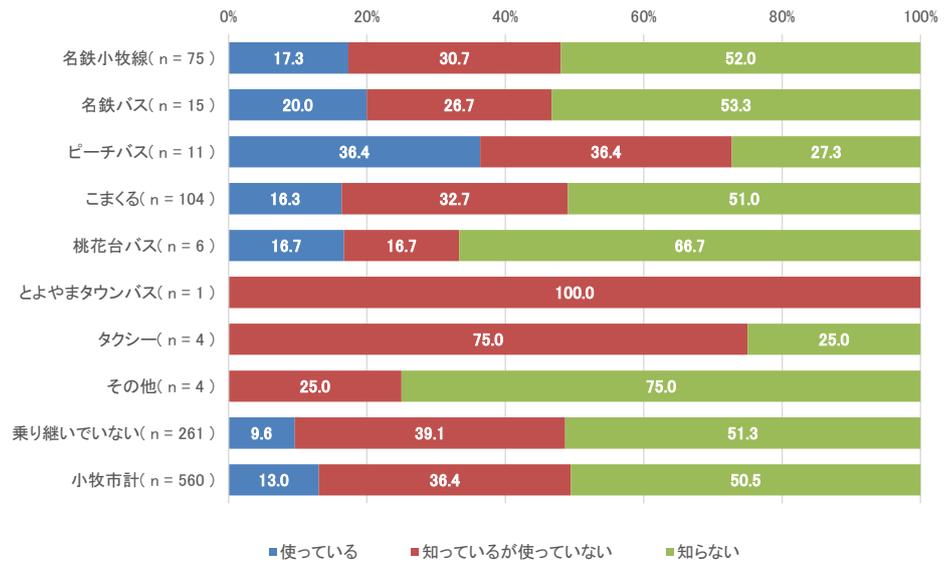


【問 19】 こまくるの乗換案内サービスを利用していますか。

- 市全体では、「知らない」の割合が約 51%と最も高く、次いで、「知っているが使ってない」の割合が約 36%、「使っている」の割合が約 13%となっている。
- 他の年齢層と比べ、64 歳以下では、「使っている」の割合が約 22%と高くなっている。
- 他と比べ、ほぼ毎日利用している人は、「使っている」の割合が約 19%と高くなっている。
- 他と比べ、乗継先にピーチバスを利用している人は、「使っている」の割合が約 36%と高くなっている。

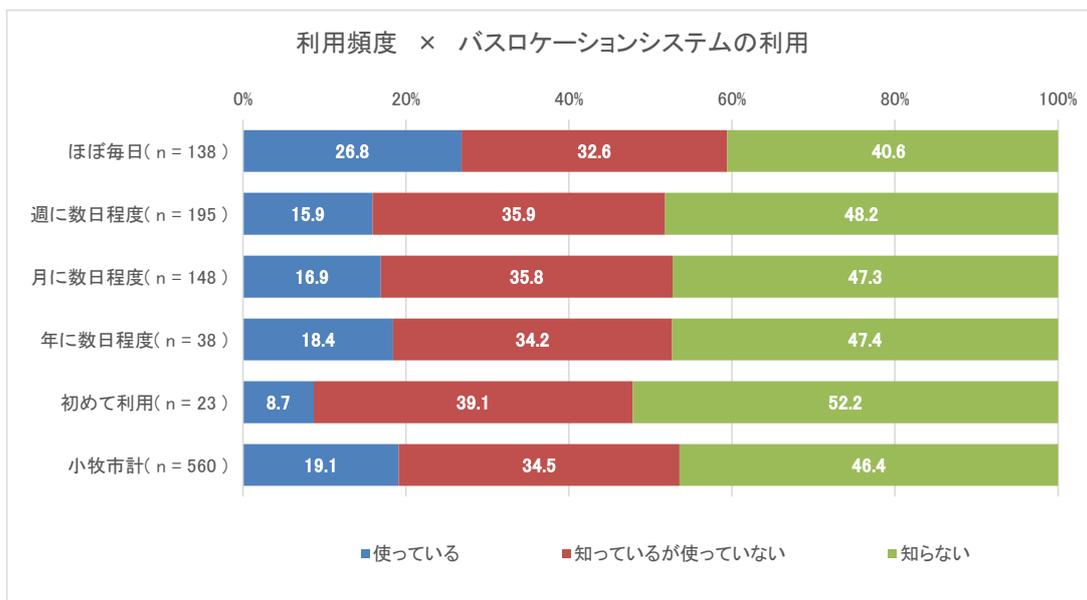
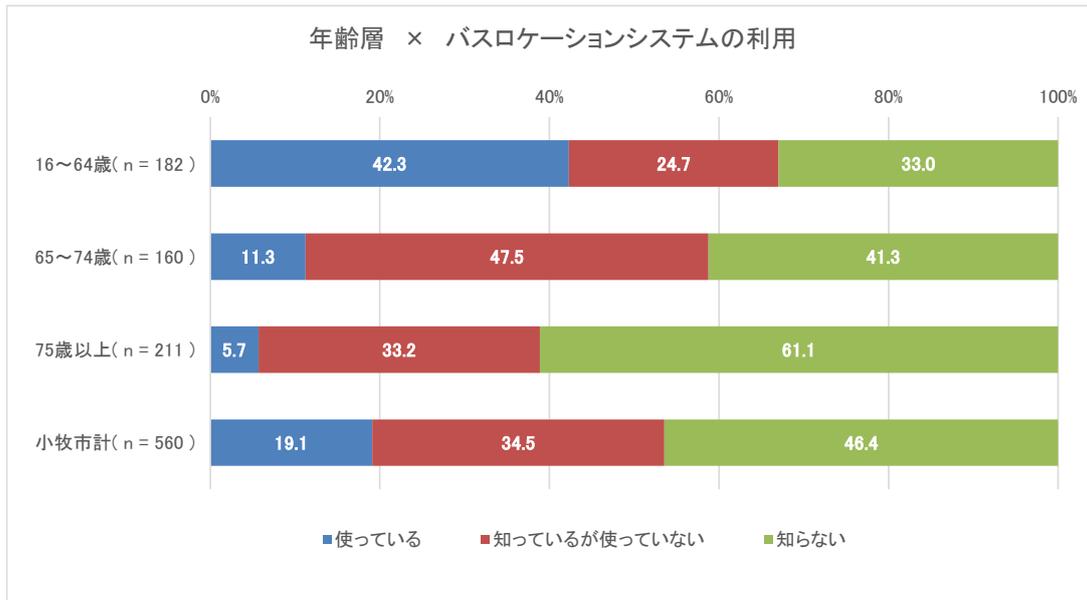


乗継先 × 乗り換え案内サービスの利用



【問 20】 こまくるのバスロケーションシステムを利用していますか。

- 市全体では、「知らない」の割合が約 46%と最も高く、次いで、「知っているが使っていない」の割合が約 35%、「使っている」の割合が約 19%となっている。
- 16～64 歳では、「使っている」の割合が約 42%と最も高い。
- 65 歳以上では、使っていない（「知っているが使っていない」 + 「知らない」）の割合が約 90%を占める。
- 他と比べ、ほぼ毎日利用している人は、「使っている」の割合が約 27%と高くなっている。

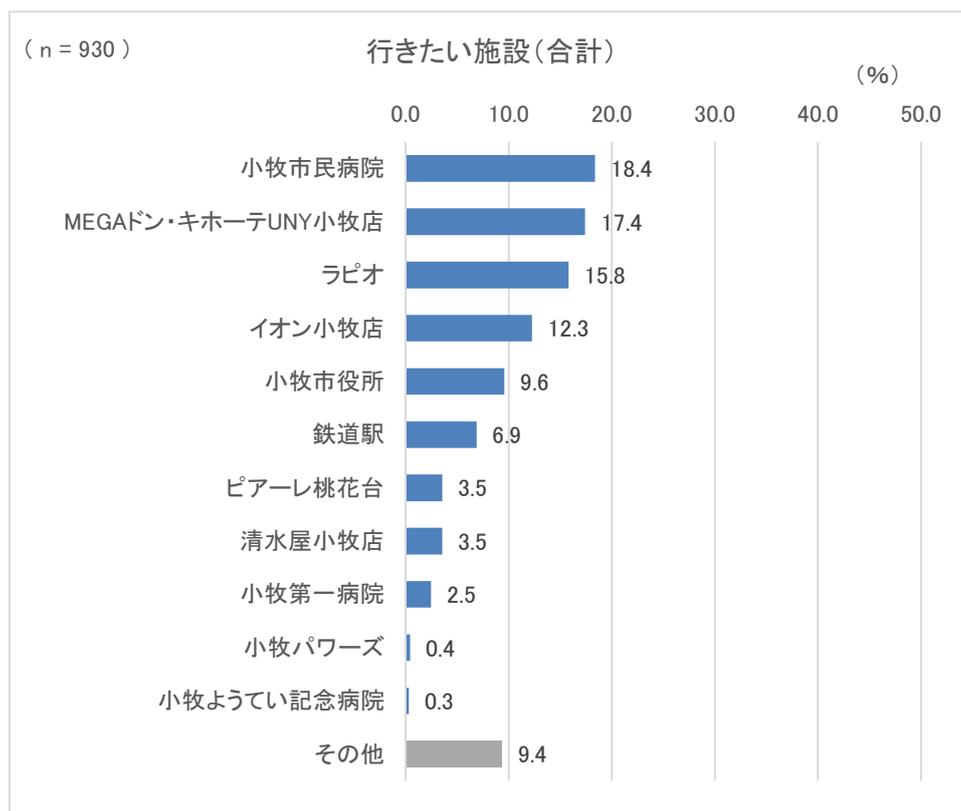


(7)今後のこまくるについて

【問 21】 こまくるを利用して行きたい（行っている）小牧市内の目的地や目的施設があれば具体的に教えてください。

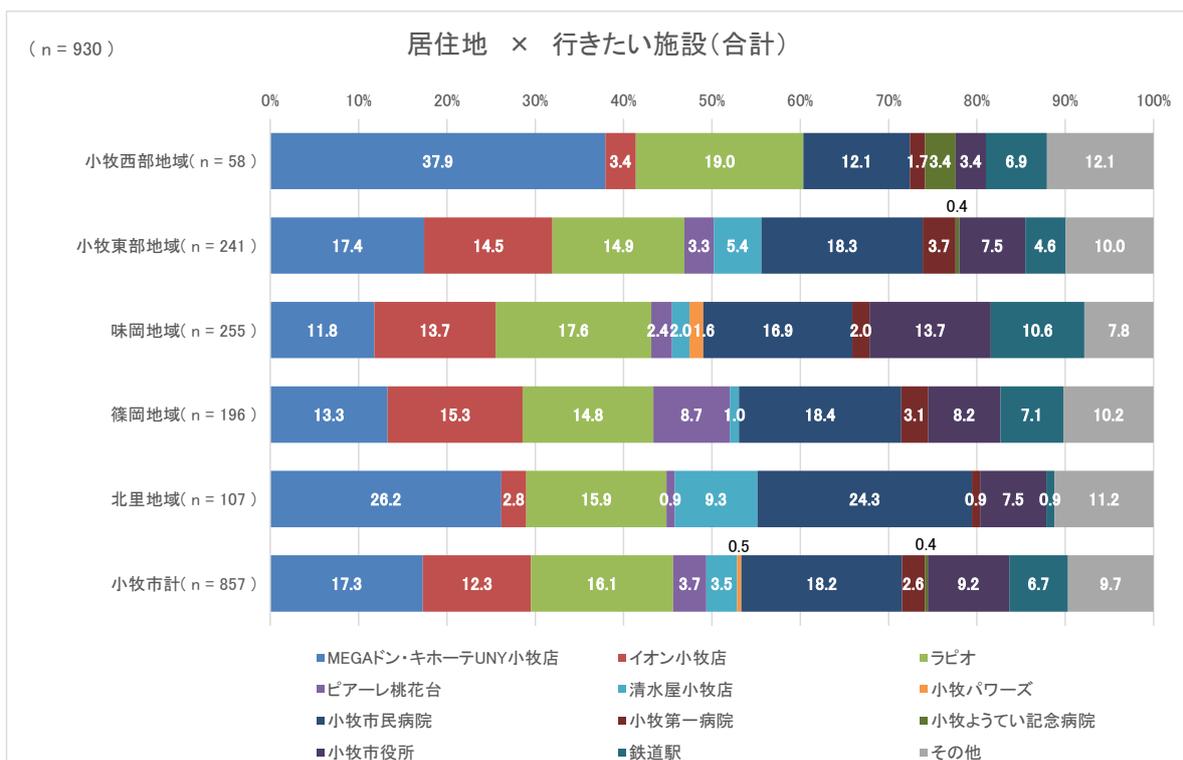
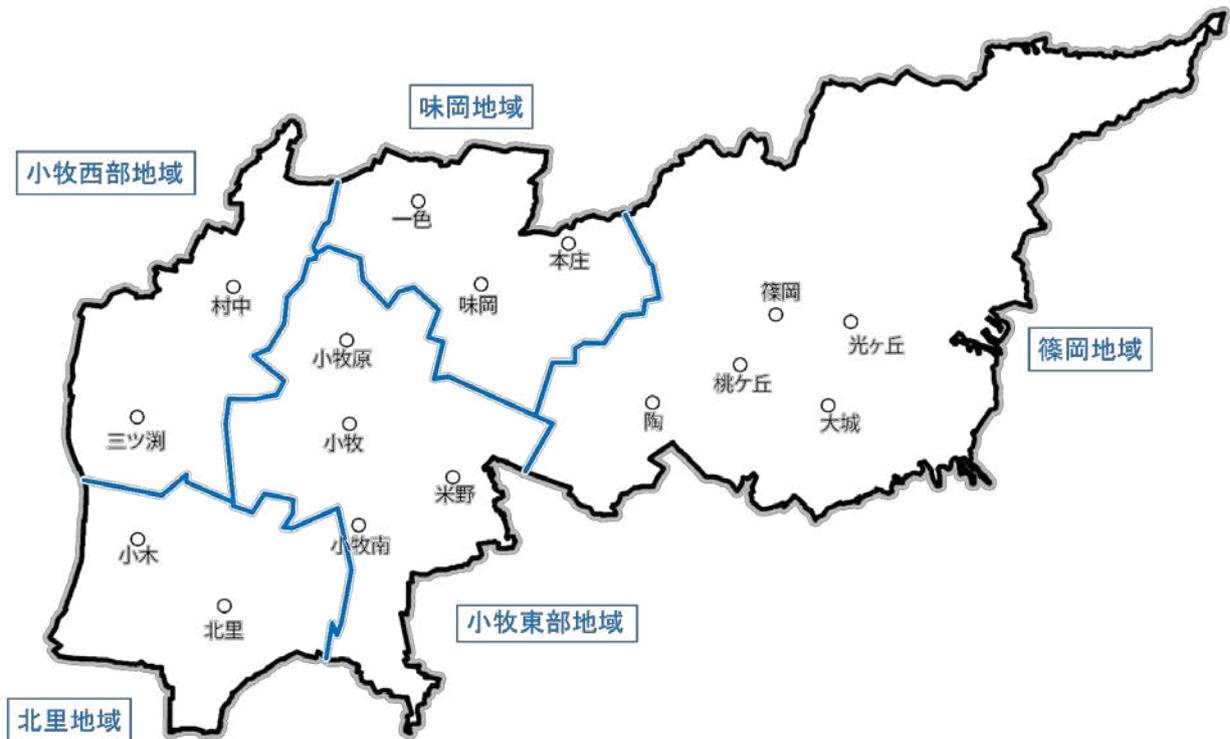
① バスで行きたい、または行っている施設はどこですか。

■ 「MEGA ドン・キホーテ UNY 小牧店」の割合が約 18%と最も高く、次いで、「小牧市民病院」、「ラピオ」の順に高くなっている。

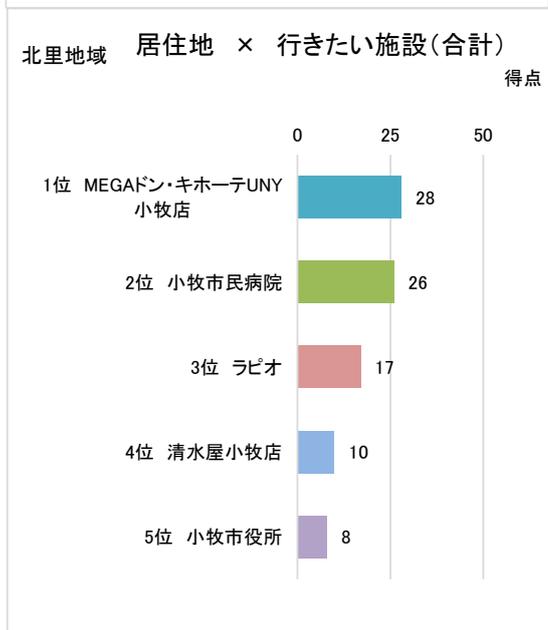
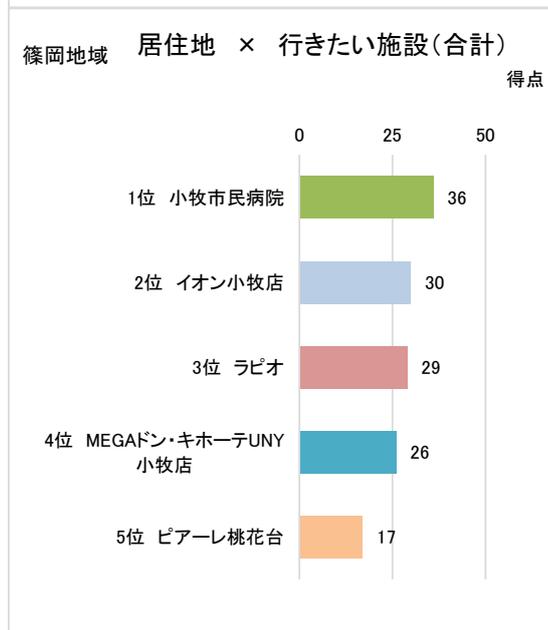
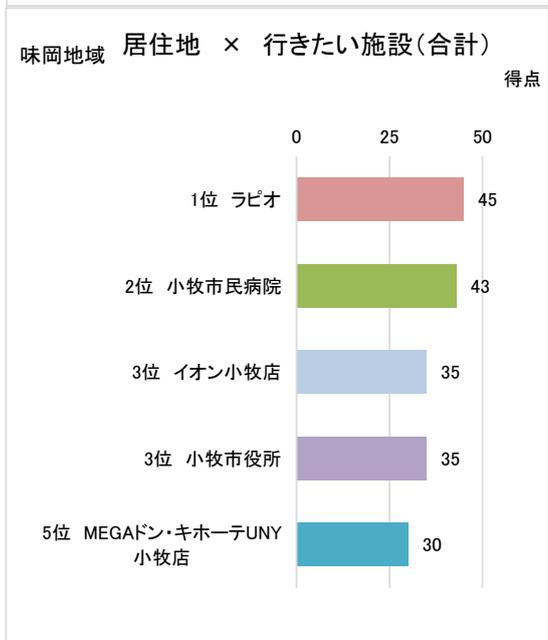
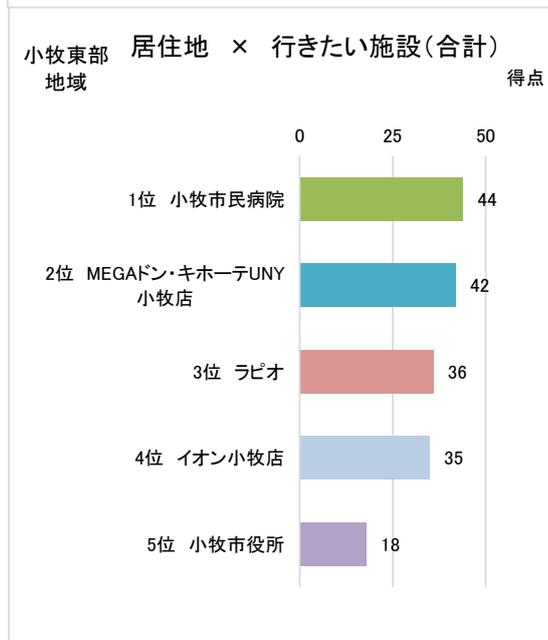
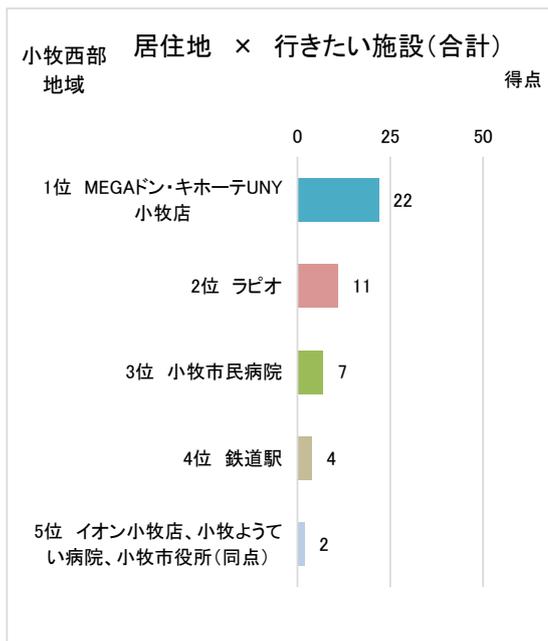
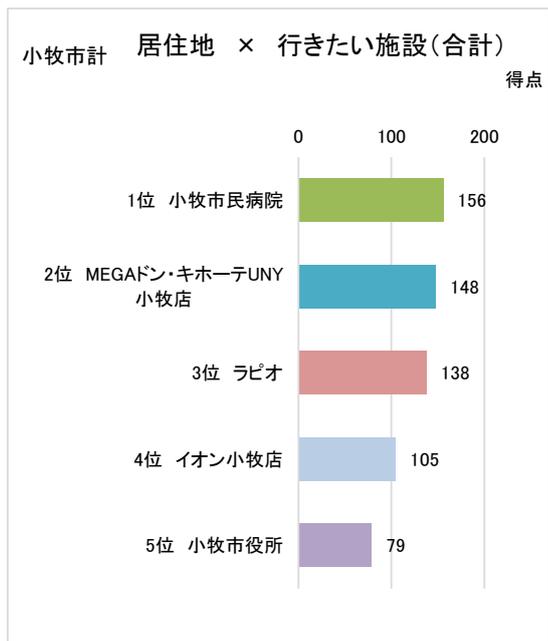


- 小牧西部地域・北里地域では、「MEGA ドン・キホーテ UNY 小牧店」の割合が約 30～40%と最も高い。
- 小牧東部地域・篠岡地域では、「小牧市民病院」の割合が約 20%と最も高い。
- 味岡地域では、「ラピオ」の割合が約 18%と最も高い。

※小牧市内を小学校区をもとに、下記の5つの地域でクロス集計

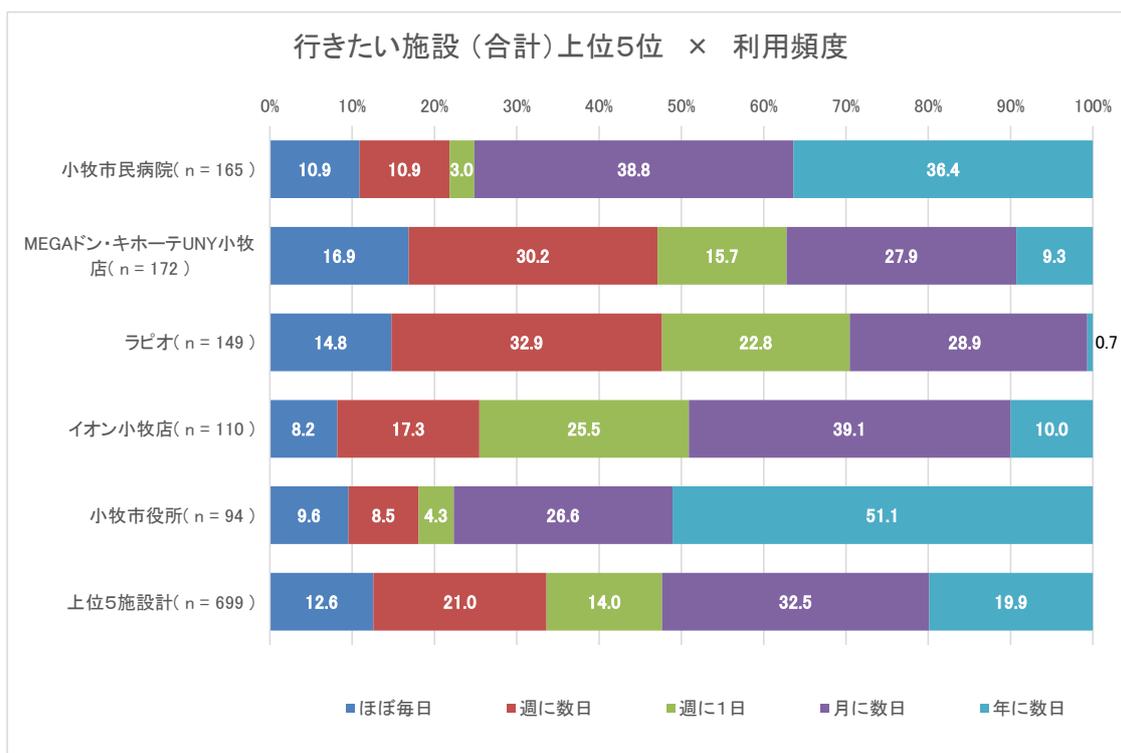


居住地別の行きたい施設上位5位 ※得点：1位は3点、2位は2点、3位は1点とした加重和



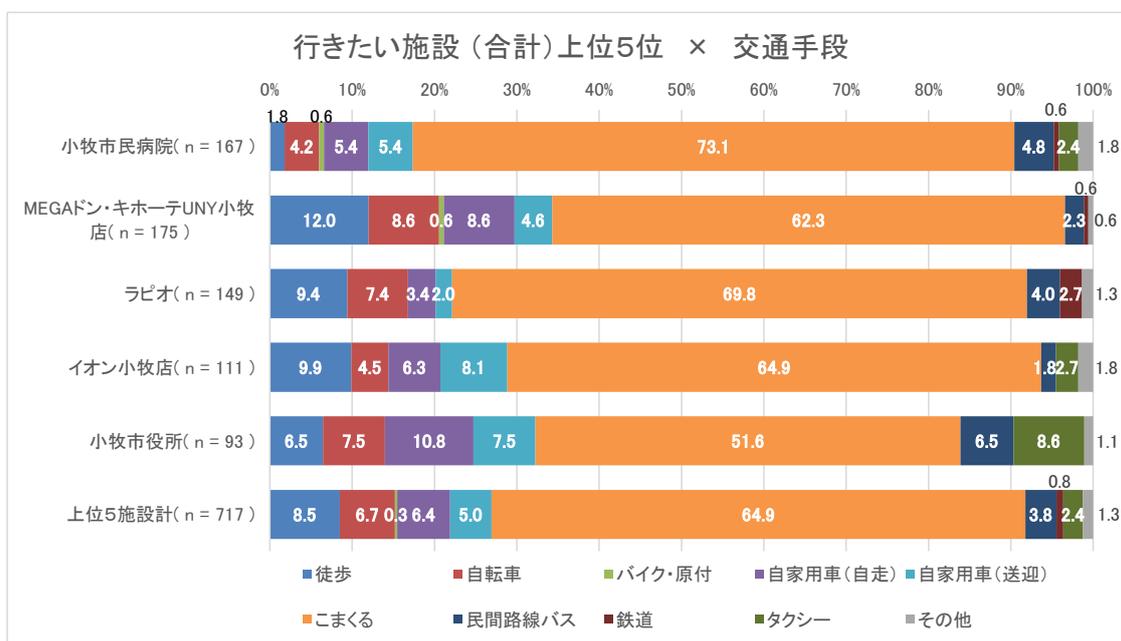
② ①で回答した施設へ、どのくらいの頻度で行きたいですか。

- 上位5施設の合計については、「月に数日」の割合が約33%と最も高く、次いで、「週に数日」の割合が約21%、「年に数日」の割合が約20%となっている。
- 小牧市民病院では、「月に数日」の割合が約39%と最も高く、次いで「年に数日」が約36%となっている。
- MEGA ドン・キホーテ UNY 小牧店、ラピオでは、「週に数日」の割合が約30~33%と最も高く、次いで「月に数日」の割合が約28~29%となっている。



③ ①で回答した施設へ行くために、現在、どの交通手段を利用していますか。

- 上位5施設について、どの施設においても「こまくる」の割合が半数以上を占めている。

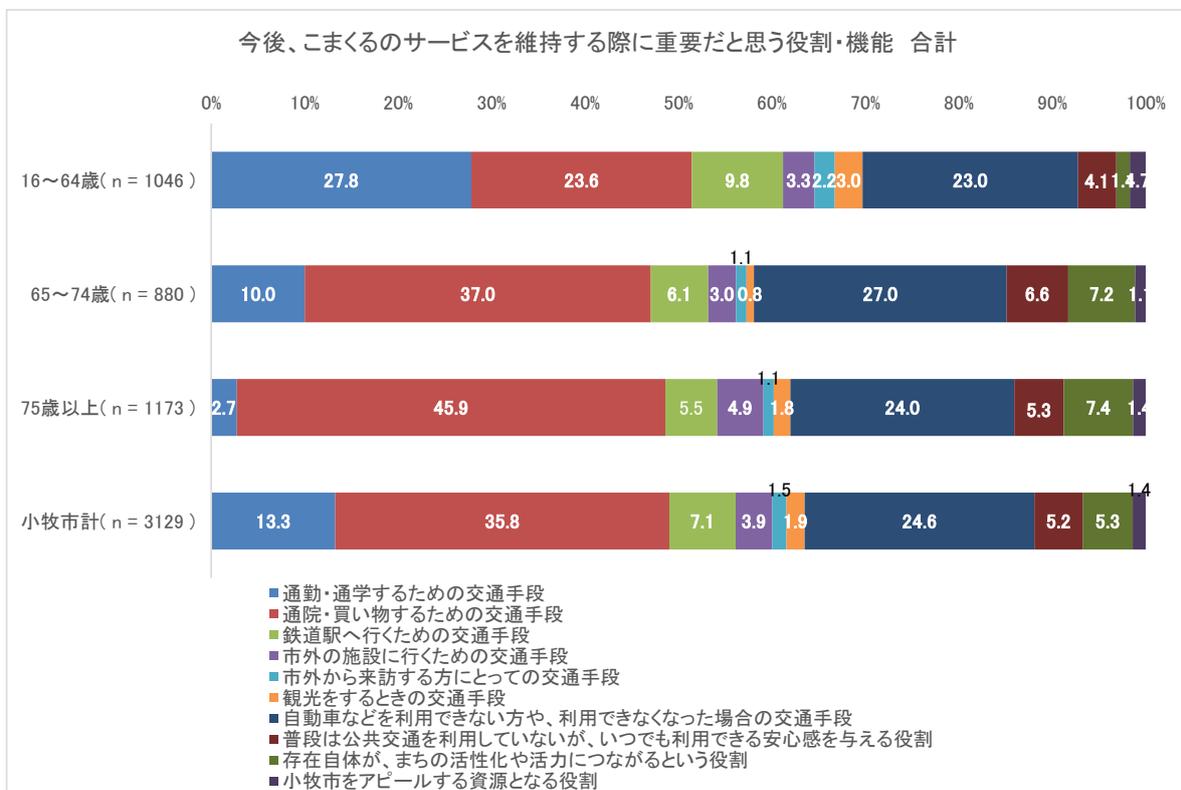


【問 22】 今後、こまくるのサービスを維持・拡充していく際に、重要だと思う役割・機能を教えてください。

※得点：1位は3点、2位は2点、3位は1点とした加重和

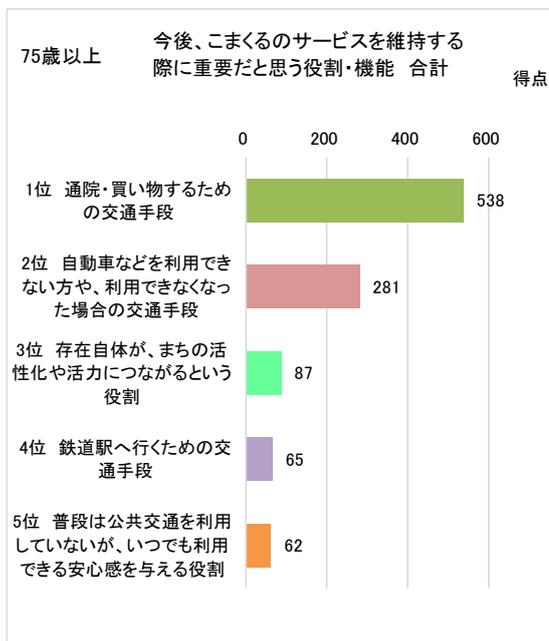
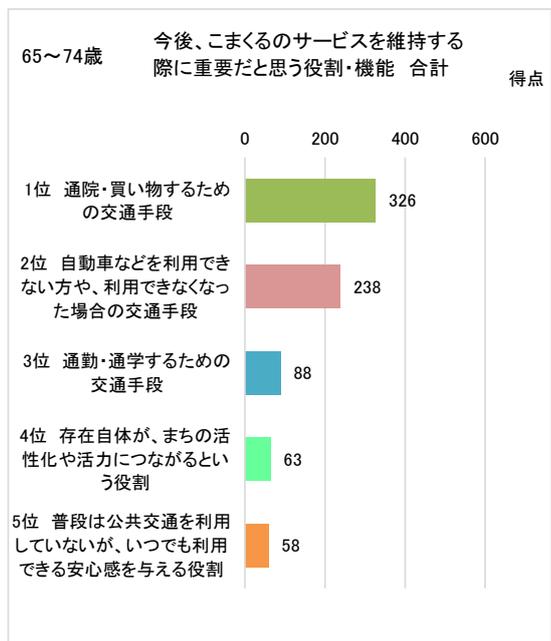
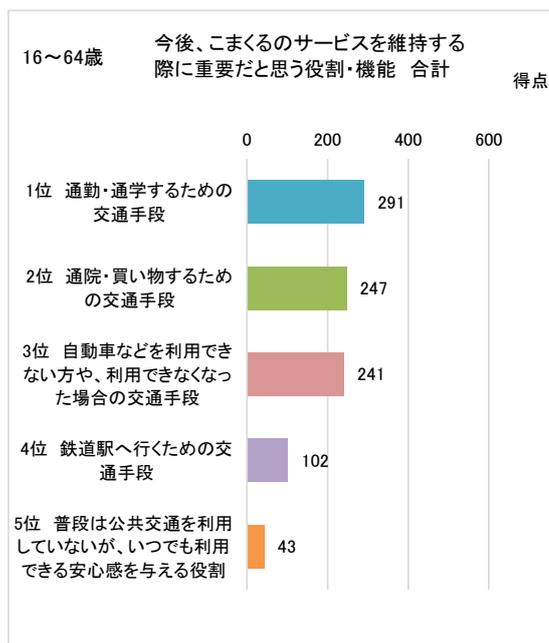
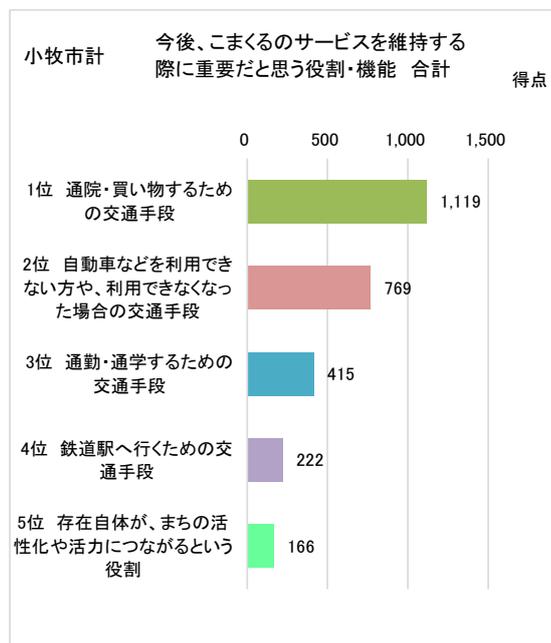
〈合計〉

- 市全体では、「通院・買い物するための交通手段」の割合が約36%と最も高く、次いで、「自動車などを利用できない方や、利用できなくなった場合の交通手段」の割合が約25%となっている。
- 16～64歳では、「通勤・通学するための交通手段」の割合が約28%と最も高く、次いで、「通院・買い物するための手段」の割合が約24%となっている。
- 65～74歳では、「通院・買い物するための交通手段」の割合が約37%と最も高く、次いで、「自動車などを利用できない方や、利用できなくなった場合の交通手段」の割合が27%となっている。
- 75歳以上では、「通院・買い物するための交通手段」の割合が約46%と最も高く、次いで、「自動車などを利用できない方や、利用できなくなった場合の交通手段」の割合が約24%となっている。



年代別こまくるのサービスを維持・拡充していく際に、重要だと思う役割・機能

※得点：1位は3点、2位は2点、3位は1点とした加重和



3. アンケート調査票



こまき巡回バス「こまくる」に関する利用者アンケートのお願い

日頃から小牧市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

小牧市では、本市が運行するこまき巡回バス「こまくる」について、よりよい公共交通とするため、令和2年12月1日に再編を実施しました。

そこで、こまくる利用者の皆さまの使い方や、再編後のこまくるに対するご意見などを把握するため、アンケートを実施させていただくことにしました。

ご多忙のところ誠にご面倒とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

(※このアンケートを同じ日に2通以上お受け取りになられた場合は、1通のみ返信してください。別の日に2通目をお受け取りになられた場合は、1通目は全設問、2通目は問12まで回答し、2通とも返信してください。)

令和3年7月 **小牧市**

記入にあたってのお願い

1. アンケートのご回答は、次頁以降の「こまくるに関する利用者アンケート調査票」にご記入ください。
2. ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和3年8月16日（月）までに**お近くのポストに投函してください。
3. アンケートを受け取った方が答えられない場合、ご家族のどなたかにお答えいただいてもかまいません。
4. ご回答いただいた結果は、統計的に処理し、本調査の目的以外には使用しません。

〔アンケートに関するお問い合わせ〕

小牧市都市政策部都市整備課 0568-76-1138

■アンケートを受け取った当日のバス利用について

※アンケートを複数受け取った方は、最初に受け取ったバスについてお答えください。

問2 このアンケートをどの路線で受け取りましたか。

(該当する番号1つに○)

例. 【系統番号】路線名	
1. 【1】小牧駅市役所線	2. 【2】河内屋線
3. 【3】藤島線	4. 【4】市之久田線
5. 【5】小牧原線	6. 【6】岩崎線
7. 【7】桃花台線	8. 【11】味岡桃花台線
9. 【12】文津線	10. 【13】野口大山線
11. 【H1】舟津線	12. 【H2】三ツ淵北線
13. 【H3】村中線	14. 【H4】間々原線
15. 【H5】春日寺線	16. 【H6】多気線
17. 【A1】田県線	18. 【A2】久保一色線
19. 【A3】岩崎原線	20. 【T1】篠岡光ヶ丘線
21. 【T2】城山大草線	22. 【T3】池之内上末線
23. 【T4】高根線	

問3 アンケートを受け取ったバスに乗車した日時と乗車したバス停を教えてください。

(それぞれ該当する番号1つに○、 内に記入)

日にち	1. 7月25日(日) 2. 8月2日(月)
時間	1. 午前 <input type="text"/> 時頃 2. 午後 <input type="text"/> 時頃
乗車バス停名	<input type="text"/>

問4 アンケートを受け取ったバスを降りたバス停と最終目的地をご記入ください。

(該当する番号1つに○、 内に記入)

降車バス停名	<input type="text"/>	
最終目的地	1. 小牧市内 施設名： <input type="text"/> 例) 小牧市役所、自宅など	2. 小牧市外 <input type="text"/> 市・町・村 (市町村名のみ記入)

問5 アンケートを受け取った日の外出目的を教えてください。 (該当する番号1つに○)

- | | | |
|----------------|-----------|------------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院・お見舞い |
| 4. 業務 | 5. 買物 | 6. 飲食・娯楽 |
| 7. 観光・レクリエーション | 8. 習い事・趣味 | 9. 訪問(知人宅) |
| 10. その他() | | |

問6 アンケートを受け取ったバスはどの程度の頻度で利用されますか。 (該当する番号1つに○)

- | | | |
|-----------|---|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | } | ⇒ 問7に進んでください |
| 2. 週に数日程度 | | |
| 3. 月に数日程度 | } | ⇒ 問8に進んでください |
| 4. 年に数日程度 | | |
| 5. 初めて利用 | | |

問6で「1. ほぼ毎日」または「2. 週に数日程度」と回答した方にお聞きします。

問7 こまくるの利用傾向を教えてください。 (該当する番号1つに○)

- | | | |
|------------|------------|-----------------|
| 1. 主に平日に利用 | 2. 主に休日に利用 | 3. 平日、休日に関わらず利用 |
|------------|------------|-----------------|

問8 アンケートを受け取ったバスから他のこまくるの路線や他の交通機関へ乗り継ぎましたか。または、他の交通機関からアンケートを受け取ったバスへ乗り継ぎましたか。

(該当する番号1つに○)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 名鉄小牧線 | 2. 名鉄バス()線 |
| 3. ピーチバス | 4. こまくる()線 |
| 5. 桃花台バス | 6. 近距離高速バス |
| 7. 中央道高速バス | 8. わん丸君バス(犬山市コミュニティバス) |
| 9. とよやまタウンバス | 10. 大口町コミュニティバス |
| 11. タクシー | 12. その他() |
| 13. 乗り継いでいない ⇒ 問10に進んでください。 | |

問8で1~12を選択した(乗り継いだ)方にお聞きします。

問9 乗り継いだこまくるのバス停を教えてください。

バス停名()

問 10 アンケートを受け取った当日は往復でこまくるを利用しましたか。

(該当する番号 1 つに○)

1. 行きのみ利用	}	⇒	問 11 に進んでください
2. 帰りのみ利用			
3. 往復で利用		⇒	p. 6 に進んでください

問 10 で 1 または 2 を選択した (こまくるを片道のみ利用した) 方にお聞きます。

問 11 アンケートを受け取ったバスの代わりに、行きまたは帰りに利用した交通手段を教えてください。
(該当する番号 1 つに○)

1. 自動車 (自走)	2. 自動車 (送迎)
3. 名鉄小牧線	4. 名鉄バス () 線
5. ピーチバス	6. 桃花台バス
7. 近距離高速バス	8. 徒歩
9. タクシー	10. その他 ()

問 12 こまくるを片道のみ利用した理由を教えてください。 (最も該当する番号に 1 つに○)

1. 本数が少ないから	2. 利用したい時間と合わないから
3. 行きたい場所に行けないから	4. 遠回りになるから
5. 乗り継ぎが不便だから	6. 他の交通手段の方が便利だから
7. 車で送迎してもらえるから	8. その他 ()

はじめてこのアンケートにご回答いただいている方は、

次ページへお進みください。

※すでに一度、このアンケートにご回答いただいている方は以上で終了です。

令和2年12月1日からこまき巡回バス「こまくる」が変わりました！

こまくるは、令和2年12月1日に再編し、路線数はこれまでの19路線から23路線に増え、路線・ダイヤが大きく変更となりました。ポイントとして「定時性の確保」「定員オーバーの解消」「利便性の向上」「経済性の維持」を掲げ、再編を行いました。

運行目的

- ・公共交通空白地域の解消
- ・公共施設の利用促進

サービス水準の基本方針

- ・約1時間に1本の運行時間
- ・半径500mを利用圏域としてバス停を設置

こまくる再編のポイント

【定時性の確保】

- * 長大路線を廃止し、すべてのルートを最大1時間程度の路線長に
- * 平日ダイヤと土日祝日ダイヤをそれぞれ設定

【定員オーバーの解消】

- * 8人または10人乗りのワンボックス車両を廃止し、代わりに 28人乗り小型ノンステップバスを導入

【利便性の向上】

- * 小牧駅～小牧市民病院～小牧市役所をピストン運行する新たな路線の設定
- * 幹線系路線は 小牧駅・味噌駅、支線系路線は 小牧市民病院・味噌駅・桃花台センターを中心とした路線の設定
- * 広域的なニーズに対応するため、隣接市町コミュニティバス等と連携

【経済性の維持】

- * 路線数は増加したものの、運行車両台数を減らし効率よく運行

■こまくるの経費について

こまき巡回バス「こまくる」は、市内に 400 基以上のバス停を設置し、運行間隔も概ね 1 時間に 1 本となるよう利便性の向上に努めてきました。

このため、大変多くの方々にご利用いただいております。令和元年度の利用者は、約 72 万人でありました。しかしながら平成 27・28 年の路線再編での大幅な路線拡充以降、運行に関する経費も大幅に増加しており、令和 2 年度において、年間約 3 億 5,000 万円の経費を要しています。

一方、主な収入源である運賃の料金体系は、[大人：200 円／1 日、小学生：100 円／1 日、高齢者（65 歳以上）・幼児・障がい者等：無料]となっています。

コロナ禍の影響はもちろんです。利用者の約 65%が高齢者（65 歳以上）であることもあり、料金収入は年間約 1,300 万円にとどまっています。

これは運行に対して市民 1 人 1 人が年間約 2,200 円を負担していることとなり、1 回の乗車に換算すると約 600 円の経費がかかっている計算になります。

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少傾向にあり、更に厳しい状況が続いており、今後も、こまくるの運行を維持・存続していくために、様々な対応が必要と考えております。

問 15-① 今後も、こまくるの運行を維持・存続していくために、必要なことは何だと思えますか。
(該当する番号 1 つに○)

1. 料金収入を増やすべき
2. 運行規模を縮小すべき
3. 現行のサービス水準を変えずに、利用促進を図るべき
4. その他 ()

問 15-② 仮に料金収入を増やすとすれば、大人や高齢者の運賃をどのようにすればよいと思えますか。
(該当する番号 1 つに○)

1. 大人 1 日 200 円、高齢者料金無料とするが、料金無料の対象年齢を引き上げる
2. 高齢者料金無料をやめ、大人 1 日 100 円とする
3. 大人 1 日 200 円、高齢者 1 日 100 円とする
4. 高齢者料金無料をやめ、大人 1 乗車につき 100 円とする

■こまくるの周知・サービスについて

問 18 再編の内容について、何で知りましたか。

(該当する番号 1 つに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 市ホームページ | 2. 広報こまき |
| 3. 小牧市役所本庁舎の特設コーナー | 4. 各市民センターの特設コーナー |
| 5. こまくるガイド | 6. 知人に聞いた |
| 7. 市議会 | 8. 市(都市整備課)への問い合わせ |
| 9. その他() | |

こまくるの乗り継ぎについては、様々なご意見をいただいておりますが、乗り継ぎの利便性向上のため、市役所、各市民センターにおいては、特設コーナーを設け、乗り継ぎについて周知を図りました。また、下記のようなサービスもあります。

乗換案内サービス

パソコンやスマートフォンなどで下記の乗り換えサービスを利用することで、目的地までの経路や時刻表を検索することができます。

- ・「駅すばあと for web」「乗換案内」：バス・鉄道相互の乗り換え案内や各バス停の時刻表検索
- ・「NAVITIME」：バス相互の乗り換え案内や各バス停の時刻表検索
- ・「駅探」：各バス停の時刻表検索

問 19 こまくるの乗換案内サービスを利用していますか。

(該当する番号 1 つに○)

- | | | |
|----------|-----------------|---------|
| 1. 使っている | 2. 知っているが使っていない | 3. 知らない |
|----------|-----------------|---------|

バスロケーションシステム

バスロケーションシステムは、バスに設置する GPS を利用してバスの位置情報を収集し、バスの発車時刻や遅延状況等の運行情報をインターネット上で利用者に提供するシステムです。

バス停に貼付されている QR コード(右図)を携帯電話やスマートフォンで読み取りインターネット上のサイトにアクセスすることにより、携帯・スマホで運行情報を把握することができます。



問 20 こまくるのバスロケーションシステムを利用していますか。

(該当する番号 1 つに○)

- | | | |
|----------|-----------------|---------|
| 1. 使っている | 2. 知っているが使っていない | 3. 知らない |
|----------|-----------------|---------|

右図の QR コードを携帯・スマートフォンで読み取ると、乗り換えサービス等の案内をしている小牧市のホームページにアクセスできます。



■今後のこまくるについて

問 21 こまくるを利用して行きたい(行っている)小牧市内の目的地や目的施設があれば具体的に教えてください。(2つまでご回答ください)

	1つ目	2つ目
① バスで行きたい、または行っている施設はどこですか。 (それぞれ1つに○)	1. MEGA ドン・キホーテ UNY 小牧店 2. イオン小牧店 3. ラピオ 4. ピアーレ桃花台 5. 清水屋小牧店 6. 小牧パワーズ 7. 小牧市民病院 8. 小牧第一病院 9. 小牧ようてい記念病院 10. 小牧市役所 11. 鉄道駅 () 12. その他 ()	1. MEGA ドン・キホーテ UNY 小牧店 2. イオン小牧店 3. ラピオ 4. ピアーレ桃花台 5. 清水屋小牧店 6. 小牧パワーズ 7. 小牧市民病院 8. 小牧第一病院 9. 小牧ようてい記念病院 10. 小牧市役所 11. 鉄道駅 () 12. その他 ()
② ①で回答した施設へ、どのくらいの頻度で行きたいですか。 (それぞれ1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週に数日 3. 週に1日 4. 月に数日 5. 年に数日	1. ほぼ毎日 2. 週に数日 3. 週に1日 4. 月に数日 5. 年に数日
③ ①で回答した施設へ行くために、現在、どの交通手段を利用していますか。 (それぞれ1つに○)	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 自家用車(自走) 5. 自家用車(送迎) 6. こまくる 7. 民間路線バス 8. 鉄道 9. タクシー 10. その他 ()	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 自家用車(自走) 5. 自家用車(送迎) 6. こまくる 7. 民間路線バス 8. 鉄道 9. タクシー 10. その他 ()

問 22 今後、こまくるのサービスを維持・拡充していく際に、重要だと思ふ役割・機能を教えてください。
 (該当する番号を上位3つまで回答欄に記入)

回答欄	1位	2位	3位

1. 通勤・通学するための交通手段
2. 通院・買い物するための交通手段
3. 鉄道駅へ行くための交通手段
4. 市外の施設へ行くための交通手段
5. 市外から来訪する方にとっての交通手段
6. 観光をするときの交通手段
7. 自動車などを利用できない方や、利用できなくなった場合の交通手段
8. 普段は公共交通を利用していないが、いつでも利用できる安心感を与える役割
9. 存在自体が、まちの活性化や活力につながるという役割
10. 小牧市をアピールする資源となる役割

自由意見

こまくるの「ここが好き」「ここが気に入っている」というところがあればご記入ください。

その他、こまくるに関するご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
 このアンケート調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ
8月16日（月）までにお近くのポストに投函してください。



小牧市キャラクター こまき山